

令和3年度

家庭部門のCO₂排出実態統計調査事業委託業務

(令和4年度調査分の準備等)

報 告 書

令和4年3月

株式会社 インテージ

株式会社 住環境計画研究所

目 次

1. 目的と業務内容.....	1
1.1 目的	1
1.2 業務内容	1
2. 家庭 CO ₂ 統計令和 4 年度調査（調査員調査）の準備	3
2.1 調査の準備状況	3
2.2 調査の合理化・効率化の検討	12
3. 家庭 CO ₂ 統計の利用促進及び改善に向けた検討	18
3.1 ニーズ把握の実施	18
3.1.1 背景・目的・方法	18
3.1.2 ヒアリング先	18
3.1.3 ヒアリング項目	18
3.1.4 ヒアリング調査結果	19
3.1.5 課題	25
3.2 e-Stat のデータベース化	27
参考資料	31

1. 目的と業務内容

1.1 目的

国連気候変動枠組条約（以下「UNFCCC」という。）第 21 回締約国会議（以下「COP21」という。）において、すべての国が参加する公平で実効的な 2020 年以降の枠組みとしてパリ協定が採択された。我が国は、COP21 に先駆けて、国内の排出削減・吸収量の確保により、2030 年度に 2013 年度比で総排出量を 26%削減することとした「日本の約束草案」を決定しており、これを踏まえ「地球温暖化対策計画」（平成 28 年 5 月 13 日閣議決定）が取りまとめられた¹。

家庭部門においては、2030 年度に 2013 年度比で約 4 割削減する見通しを立てていることから、効果的な削減対策の実施が喫緊の課題となっている。

そのため、家庭部門の CO₂ 排出実態やエネルギー消費実態等の詳細な基礎データを把握することを目的として、全国 13,000 世帯（調査員調査 6,500 世帯、インターネット・モニター調査（以下「IM 調査」という）6,500 世帯）を対象とする一般統計等調査「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」（平成 28 年 11 月 4 日付総務省承認）（以下「家庭 CO₂ 統計」という。）を平成 29 年度（2017 年度）から実施している。

本業務では、家庭 CO₂ 統計の令和 4 年度調査に関し、調査員調査の準備・実査、結果の分析等を実施する。

なお、令和 4 年度に家庭 CO₂ 統計を実施するためには準備から実査・集計・分析・公表等までに約 3 年を要することから、本業務は令和 3 年度～令和 5 年度の 3 か年度にかけて行う。今年度は 1 年度目の業務で、調査の準備業務を実施する。

1.2 業務内容

(1) 家庭 CO₂ 統計令和 4 年度調査（調査員調査）の準備

家庭 CO₂ 統計の令和 4 年度調査の調査員調査について、全国 6,500 世帯を対象とし、令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月までの 1 年間、電気・ガス・灯油等の使用量や属性事項等を調査する。

調査は統計法に基づく政府の一般統計調査として承認を受けた内容に基づき実施する。

令和 3 年度は、調査地点の抽出、調査世帯名簿の作成、調査世帯への協力要請、調査票等調査資材の印刷・配布、回答者負担の軽減等を目的とするインターネットで回答（オンライン回答）を行う画面の作成等の調査の準備を行う。なお、回収率の向上に向け、調査員調査の調査票の配布は調査員の訪問により行う等の取り組みを実施する。調査の実施に向けて合理化・効率化の観点から課題の整理を行い、改善の検討を行うものとする。

なお、本委託業務の実施に当たっては、統計法及び関係法令等を遵守して実施するとともに、調査票情報等のデータについては適切に管理を行い、環境省での保管が必要なデータについては適切な時期に提供する。

¹ 地球温暖化対策計画（令和 3 年 10 月 22 日閣議決定）においては、2050 年カーボンニュートラルの実現とともに、2030 年度の温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46%削減することを目指し、さらに 50%の高みに向けて挑戦を続けていくこととされている。

(2) 家庭 CO₂ 統計の利用促進及び改善に向けた検討

統計の利用が期待される主体（地方公共団体、企業、団体、研究者等）に対するヒアリング（1人当たり2時間、のべ5人程度を想定）を行い、調査事項や集計事項に関する意見の収集等により、統計調査の活用促進及び改善のためのニーズの把握を行う。

令和3年3月に「政府統計の総合窓口 e-Stat」で公表した平成31年度調査結果を、政府統計共同利用システム統計情報データベースへ登録を行い、統計利用者の利便性の向上を図る。

その他、必要に応じて、家庭 CO₂ 統計の利用促進及び改善に向けた取り組みを実施する。

2. 家庭 CO₂ 統計令和 4 年度調査（調査員調査）の準備

2.1 調査の準備状況

表 2.1.1 調査員調査準備スケジュール

	令和 3 年									令和 4 年								
	10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
住民基本台帳による抽出		■	■	■	■	■	■	■										
オンライン回答画面の作成						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
調査物品の準備						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
調査協力依頼状の送付													■	■				
調査員への指示集会													■	■				
調査員による調査協力依頼														■	■	■	■	■

(1) 住民基本台帳による抽出

1) 地点抽出

令和 3 年度調査と同様に、調査世帯数は全国計で 6,500 世帯とし、地方 10 層、都市階級 3 層を設定した。都市階級の層化には「平成 27 年国勢調査」（総務省統計局）の世帯数を用いた。

【地方の層化】

- ・北海道：北海道
- ・東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- ・関東甲信：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
- ・北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- ・沖縄：沖縄県

【都市階級の層化】

- ・都道府県庁所在市（東京都は区部）及び政令指定都市
- ・人口 5 万人以上の市
- ・人口 5 万人未満の市及び町村

なお、実査効率性の観点から 1 調査地点あたりの調査世帯数を 20 世帯と設定し、全国計で 325 地点を設定した。

表 2.1.2 地方別都市階級別調査世帯数（住民基本台帳からの選定による調査）

地方	都市階級①	都市階級②	都市階級③	合計
北海道	220(11)	200(10)	140(7)	560(28)
東北	200(10)	240(12)	160(8)	600(30)
関東甲信	500(25)	520(26)	80(4)	1,100(55)
北陸	220(11)	220(11)	120(6)	560(28)
東海	220(11)	360(18)	80(4)	660(33)
近畿	300(15)	380(19)	60(3)	740(37)
中国	200(10)	260(13)	120(6)	580(29)
四国	220(11)	140(7)	180(9)	540(27)
九州	300(15)	200(10)	160(8)	660(33)
沖縄	120(6)	240(12)	140(7)	500(25)
全国計	2,500(125)	2,760(138)	1,240(62)	6,500(325)

※ 括弧内の数値は調査地点数を表す。

「平成 27 年国勢調査 小地域集計表」（総務省統計）の町丁目ごとの世帯数から抽出確率を設定し、30 層ごとに等間隔抽出法を用いて地点抽出を行った。その結果、以下の 325 地点を令和 4 年度調査の対象地点として選定した。なお表 2.1.3～表 2.1.5 は、同一市区町村から複数選定されている場合、一つの市区町村としているため、297 自治体を掲載している。

表 2.1.3 抽出地点 (1/3)

Code	都道府県名	市区町村名	Code	都道府県名	市区町村名
01101	北海道	札幌市中央区	07201	福島県	福島市
01102	北海道	札幌市北区	07202	福島県	会津若松市
01103	北海道	札幌市東区	07203	福島県	郡山市
01104	北海道	札幌市白石区	07204	福島県	いわき市
01105	北海道	札幌市豊平区	07207	福島県	須賀川市
01106	北海道	札幌市南区	07308	福島県	伊達郡川俣町
01107	北海道	札幌市西区	08203	茨城県	土浦市
01108	北海道	札幌市厚別区	08220	茨城県	つくば市
01110	北海道	札幌市清田区	08230	茨城県	かすみがうら市
01202	北海道	函館市	09201	栃木県	宇都宮市
01203	北海道	小樽市	09203	栃木県	栃木市
01204	北海道	旭川市	10202	群馬県	高崎市
01206	北海道	釧路市	10207	群馬県	館林市
01207	北海道	帯広市	10449	群馬県	利根郡みなかみ町
01208	北海道	北見市	11103	埼玉県	さいたま市大宮区
01213	北海道	苫小牧市	11110	埼玉県	さいたま市岩槻区
01216	北海道	芦別市	11203	埼玉県	川口市
01217	北海道	江別市	11208	埼玉県	所沢市
01228	北海道	深川市	11216	埼玉県	羽生市
01231	北海道	恵庭市	11222	埼玉県	越谷市
01337	北海道	亀田郡七飯町	11230	埼玉県	新座市
01428	北海道	夕張郡長沼町	11239	埼玉県	坂戸市
01545	北海道	斜里郡斜里町	12105	千葉県	千葉市緑区
01631	北海道	河東郡音更町	12203	千葉県	市川市
01665	北海道	川上郡弟子屈町	12206	千葉県	木更津市
02201	青森県	青森市	12211	千葉県	成田市
02202	青森県	弘前市	12217	千葉県	柏市
02203	青森県	八戸市	12222	千葉県	我孫子市
02207	青森県	三沢市	12239	千葉県	大網白里市
02424	青森県	下北郡東通村	13104	東京都	新宿区
03201	岩手県	盛岡市	13106	東京都	台東区
03205	岩手県	花巻市	13108	東京都	江東区
03215	岩手県	奥州市	13110	東京都	目黒区
03302	岩手県	岩手郡葛巻町	13111	東京都	大田区
04101	宮城県	仙台市青葉区	13112	東京都	世田谷区
04102	宮城県	仙台市宮城野区	13114	東京都	中野区
04104	宮城県	仙台市太白区	13115	東京都	杉並区
04105	宮城県	仙台市泉区	13117	東京都	北区
04203	宮城県	塩竈市	13119	東京都	板橋区
04213	宮城県	栗原市	13120	東京都	練馬区
04214	宮城県	東松島市	13122	東京都	葛飾区
04501	宮城県	遠田郡涌谷町	13123	東京都	江戸川区
05201	秋田県	秋田市	13201	東京都	八王子市
05203	秋田県	横手市	13203	東京都	武蔵野市
05363	秋田県	南秋田郡八郎潟町	13208	東京都	調布市
06201	山形県	山形市	13211	東京都	小平市
06202	山形県	米沢市	13220	東京都	東大和市
06323	山形県	西村山郡朝日町	13229	東京都	西東京市

表 2.1.4 抽出地点 (2/3)

Code	都道府県名	市区町村名	Code	都道府県名	市区町村名
14102	神奈川県	横浜市神奈川区	22220	静岡県	裾野市
14107	神奈川県	横浜市磯子区	22341	静岡県	駿東郡清水町
14110	神奈川県	横浜市戸塚区	23101	愛知県	名古屋市千種区
14114	神奈川県	横浜市瀬谷区	23104	愛知県	名古屋市西区
14131	神奈川県	川崎市川崎区	23107	愛知県	名古屋市昭和区
14134	神奈川県	川崎市高津区	23110	愛知県	名古屋市中川区
14152	神奈川県	相模原市中央区	23113	愛知県	名古屋市守山区
14204	神奈川県	鎌倉市	23115	愛知県	名古屋市名東区
14207	神奈川県	茅ヶ崎市	23202	愛知県	岡崎市
14215	神奈川県	海老名市	23203	愛知県	一宮市
15102	新潟県	新潟市東区	23205	愛知県	半田市
15103	新潟県	新潟市中央区	23207	愛知県	豊川市
15105	新潟県	新潟市秋葉区	23211	愛知県	豊田市
15107	新潟県	新潟市西区	23212	愛知県	安城市
15202	新潟県	長岡市	23217	愛知県	江南市
15204	新潟県	三条市	23223	愛知県	大府市
15206	新潟県	新発田市	23231	愛知県	田原市
15213	新潟県	燕市	23425	愛知県	海部郡蟹江町
15222	新潟県	上越市	24201	三重県	津市
15223	新潟県	阿賀野市	24202	三重県	四日市市
16201	富山県	富山市	24204	三重県	松阪市
16202	富山県	高岡市	24208	三重県	名張市
16204	富山県	魚津市	24461	三重県	度会郡玉城町
16209	富山県	小矢部市	25201	滋賀県	大津市
16210	富山県	南砺市	25209	滋賀県	甲賀市
17201	石川県	金沢市	25210	滋賀県	野洲市
17203	石川県	小松市	26102	京都府	京都市上京区
17210	石川県	白山市	26108	京都府	京都市右京区
17211	石川県	能美市	26109	京都府	京都市伏見区
18201	福井県	福井市	26204	京都府	宇治市
18202	福井県	敦賀市	27106	大阪府	大阪市西区
18204	福井県	小浜市	27115	大阪府	大阪市東成区
18210	福井県	坂井市	27120	大阪府	大阪市住吉区
18501	福井県	三方上中郡若狭町	27127	大阪府	大阪市北区
19214	山梨県	中央市	27128	大阪府	大阪市中央区
20201	長野県	長野市	27141	大阪府	堺市堺区
20203	長野県	上田市	27146	大阪府	堺市北区
21201	岐阜県	岐阜市	27202	大阪府	岸和田市
21203	岐阜県	高山市	27203	大阪府	豊中市
21212	岐阜県	土岐市	27206	大阪府	泉大津市
21403	岐阜県	揖斐郡大野町	27209	大阪府	守口市
22102	静岡県	静岡市駿河区	27211	大阪府	茨木市
22131	静岡県	浜松市中区	27214	大阪府	富田林市
22134	静岡県	浜松市南区	27218	大阪府	大東市
22203	静岡県	沼津市	27223	大阪府	門真市
22210	静岡県	富士市	27227	大阪府	東大阪市
22212	静岡県	焼津市			

表 2.1.5 抽出地点 (3/3)

Code	都道府県名	市区町村名	Code	都道府県名	市区町村名
28101	兵庫県	神戸市東灘区	38213	愛媛県	四国中央市
28109	兵庫県	神戸市北区	38214	愛媛県	西予市
28111	兵庫県	神戸市西区	38488	愛媛県	北宇和郡鬼北町
28201	兵庫県	姫路市	39201	高知県	高知市
28202	兵庫県	尼崎市	39206	高知県	須崎市
28203	兵庫県	明石市	39212	高知県	香美市
28204	兵庫県	西宮市	39428	高知県	幡多郡黒潮町
28210	兵庫県	加古川市	40106	福岡県	北九州市小倉北区
28212	兵庫県	赤穂市	40108	福岡県	北九州市八幡東区
28217	兵庫県	川西市	40131	福岡県	福岡市東区
29201	奈良県	奈良市	40132	福岡県	福岡市博多区
29205	奈良県	橿原市	40133	福岡県	福岡市中央区
29208	奈良県	御所市	40135	福岡県	福岡市西区
30209	和歌山県	岩出市	40137	福岡県	福岡市早良区
31202	鳥取県	米子市	40203	福岡県	久留米市
31328	鳥取県	八頭郡智頭町	40206	福岡県	田川市
32201	島根県	松江市	40210	福岡県	八女市
32203	島根県	出雲市	40219	福岡県	大野城市
32207	島根県	江津市	40230	福岡県	糸島市
33101	岡山県	岡山市北区	40343	福岡県	糟屋郡志免町
33102	岡山県	岡山市中区	40621	福岡県	京都郡苅田町
33104	岡山県	岡山市南区	41201	佐賀県	佐賀市
33202	岡山県	倉敷市	42201	長崎県	長崎市
33208	岡山県	総社市	42202	長崎県	佐世保市
33211	岡山県	備前市	42207	長崎県	平戸市
33606	岡山県	苫田郡鏡野町	43102	熊本県	熊本市東区
34101	広島県	広島市中区	43105	熊本県	熊本市北区
34103	広島県	広島市南区	43202	熊本県	八代市
34104	広島県	広島市西区	43203	熊本県	人吉市
34105	広島県	広島市安佐南区	43216	熊本県	合志市
34108	広島県	広島市佐伯区	43505	熊本県	球磨郡多良木町
34202	広島県	呉市	44201	大分県	大分市
34207	広島県	福山市	44211	大分県	宇佐市
34212	広島県	東広島市	45201	宮崎県	宮崎市
34213	広島県	廿日市市	45206	宮崎県	日向市
34302	広島県	安芸郡府中町	45208	宮崎県	西都市
35201	山口県	下関市	46201	鹿児島県	鹿児島市
35203	山口県	山口市	46218	鹿児島県	霧島市
35206	山口県	防府市	46219	鹿児島県	いちき串木野市
35210	山口県	光市	47201	沖縄県	那覇市
35211	山口県	長門市	47205	沖縄県	宜野湾市
36201	徳島県	徳島市	47208	沖縄県	浦添市
36204	徳島県	阿南市	47209	沖縄県	名護市
36208	徳島県	三好市	47210	沖縄県	糸満市
36403	徳島県	板野郡藍住町	47211	沖縄県	沖縄市
37201	香川県	高松市	47212	沖縄県	豊見城市
37202	香川県	丸亀市	47213	沖縄県	うるま市
37206	香川県	さぬき市	47214	沖縄県	宮古島市
37324	香川県	小豆郡小豆島町	47301	沖縄県	国頭郡国頭村
38201	愛媛県	松山市	47314	沖縄県	国頭郡金武町
38202	愛媛県	今治市	47326	沖縄県	中頭郡北谷町
38203	愛媛県	宇和島市	47328	沖縄県	中頭郡中城村
38204	愛媛県	八幡浜市	47350	沖縄県	島尻郡南風原町
38205	愛媛県	新居浜市	47362	沖縄県	島尻郡八重瀬町

2) 対象世帯名簿

1 地点あたり 60 世帯の対象世帯名簿を、対象地点の含まれる市区町村の住民基本台帳を用いて等間隔抽出法により作成した。その際、選定された対象世帯の世帯主がわかる場合は、原則として世帯主を対象世帯名簿に記載するよう留意した。

(2) オンライン回答画面の作成

対象世帯が調査票への記入により回答する他、インターネットでも回答できるよう、オンライン回答画面を作成した。対象世帯にとっては投函の必要がないことから、労力を軽減することができ、回収率の向上につながる。

なお、オンライン回答画面では、他の対象世帯の回答画面にて回答されないよう、対象世帯ごとに ID とパスワードを発行した。

F1	インターネットコード表に記載のID(6ケタの数字)をご入力ください。
(回答は半角数字で入力)	
ID:	
入力内容をご確認のうえ、次のページにお進みください :	
F2	インターネットコード表に記載のパスワード(5ケタの数字)をご入力ください。
(回答は半角数字で入力)	
パスワード:	
入力内容をご確認のうえ、次のページにお進みください :	

図 2.1.1 ID とパスワード入力画面

(3) 調査物品の準備

令和 4 年 4 月からの調査開始に向け、調査員が配布する調査票等の調査物品の原稿の作成及び印刷を行った。まず、調査員稼働により令和 4 年 2 月に調査協力依頼活動を行った。

家庭 CO₂ 統計は、原則として 12 ヶ月分の調査票（エネルギー使用量調査票）と属性調査票（夏季票、冬季票）の全てを回収することで有効回答としている。そのため、今後 1 年間継続してもらえるためにも、令和 3 年 5 月に最初の調査票となる 4 月票の回収を調査員が実施することで、対象世帯と良好な関係を築けるよう、準備を進めた。

調査協力依頼活動では、対象世帯に対して表 2.1.6 対象世帯へ配布する調査物品（調査協力依頼活動時）の調査物品を配布するとともに、調査員に対しては、対象世帯の住所リストや業務概要説明書、依頼活動説明書等を配布し、調査協力依頼活動がスムーズに進められるよう配慮した。

表 2.1.6 対象世帯へ配布する調査物品（調査協力依頼活動時）

調査物品	概要
挨拶状（環境省）	環境省から対象世帯への依頼文書
挨拶状（インテグリティサーチ）	実査機関から対象世帯への依頼文書
エネルギー使用量調査票（4 月票）	例月票と区別するため水色の調査票とする
エネルギー使用量調査票（5 月票）	令和 3 年度調査の回収票と区別するため薄黄色の調査票とする
回答の手引き（4 月票・例月票）	4 月票及び例月票の回答方法を、検針票等を用いて解説
令和 2 年度調査のご紹介	令和 2 年度調査結果の紹介、対象世帯が協力した結果の活用事例
インターネットコード表	オンライン回答の際の ID とパスワード（対象者ごとにユニーク）

なお 4 月票の属性調査票の回収が重要となることから、調査員稼働による回収を令和 4 年 5 月に、夏季票の回収を令和 4 年 9 月に、冬季票の回収を令和 5 年 3 月に、実施する予定である。

(4) 調査員への指示集会

今後1年間の活動が円滑に進められるように、全国で調査員指示集会を開催した。1年間に渡る調査の流れを説明するとともに、依頼をかける際の手順について詳細な指示を行った。なお、この指示集会に参加しなければ、本業務の調査員として認めないこととし、統計調査の質の確保及び情報管理の徹底等を図った。

緊急事態宣言期間は指示集会の開催を避け、会場選定においては、出席予定者の2倍以上の定員となる広さの会議室を準備した。またマスク着用を必須とし、会場入り口に消毒液を置く、会場入り口で検温する、などの対策を講じた。

表 2.1.7 調査員指示集会の実施状況

エリア	会場	日付	時間
沖縄県	那覇	2月11日(金)	10:00~12:30/13:30~16:00
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県	東京	2月15日(火)	10:30~13:00/14:00~16:30
静岡県	静岡	2月16日(水)	14:00~16:30
岡山県	岡山	2月16日(水)	14:00~16:30
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	大阪	2月17日(木)	10:00~12:30/13:30~16:00
岐阜県、愛知県、三重県	名古屋	2月17日(木)	10:00~12:30/13:30~16:00
福岡県、佐賀県、長崎県	福岡	2月18日(金)	14:00~16:30
熊本県	熊本	2月19日(土)	11:00~13:30
鳥取県、島根県	米子	2月21日(月)	14:00~16:30
宮崎県	宮崎	2月21日(月)	14:00~16:30
大分県	大分	2月21日(月)	13:00~15:30
北海道	札幌	2月22日(火)	13:00~15:30
広島県、山口県	広島	2月22日(火)	14:00~16:30
鹿児島県	鹿児島	2月22日(火)	13:00~15:30
新潟県	新潟	2月23日(水)	10:30~13:00
徳島県、香川県、高知県	高松	2月23日(水)	10:30~13:00
青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	仙台	2月24日(木)	11:00~13:30
愛媛県	松山	2月24日(木)	13:00~15:30
富山県、石川県、福井県	金沢	2月26日(土)	11:00~13:30

(5) 調査員による調査協力依頼

(1)で作成した対象者世帯名簿（1地点あたり60世帯）の中から20世帯への調査協力を得られるよう活動を行った。ただし、集計結果の精度を向上させるため、エネルギー消費量と相関の高い世帯区分と住居区分については一定の基準をもって調査協力を得られるよう留意した。

世帯区分では単身世帯2割、二人以上世帯8割の比率を確保し、住居区分については戸建または集合住宅の一方に偏ることなく、必ずいずれかを3割含むようにした。



図 2.1.2 調査協力依頼における基準

調査員から調査協力依頼を受けた対象世帯が自治体を通じて当該調査の実施状況について照会がなされることがあるため、対象地点のある市区町村に対して、調査員が依頼活動を実施していることを文書にて環境省より通達した。

2.2 調査の合理化・効率化の検討

調査の合理化・効率化を進めるために、以下の5つの取組を検討した。

表 2.2.1 調査の合理化・効率化に向けた取組

(1) オンライン回答の推奨	オンライン回答を促進するため、回答の手引きの表紙にインターネット回答画面へアクセスする QR コードを掲載した。
(2) 委任状方式の実施	調査対象世帯から委任状を取得しエネルギー事業者（電力会社・都市ガス会社）からエネルギー使用量データを受領する方法を、一部事業者で導入。
(3) Web 閲覧サービスの周知	対象世帯がエネルギー使用量を容易かつ正確に把握でき、調査継続が可能となるよう、エネルギー事業者等の Web 閲覧サービスの普及を図った。
(4) 回答の手引きの拡充	インターネット回答を促進するため、回答の手引きの表紙にインターネット回答画面へアクセスする QR コードを掲載した。
(5) 調査票の改定	効率的に対象世帯の状況を把握できるよう調査票の改善・改定を行った。

(1) オンライン回答の推奨

インターネット回答を促進するため、回答の手引きの表紙にインターネット回答画面へアクセスする QR コードを掲載した。

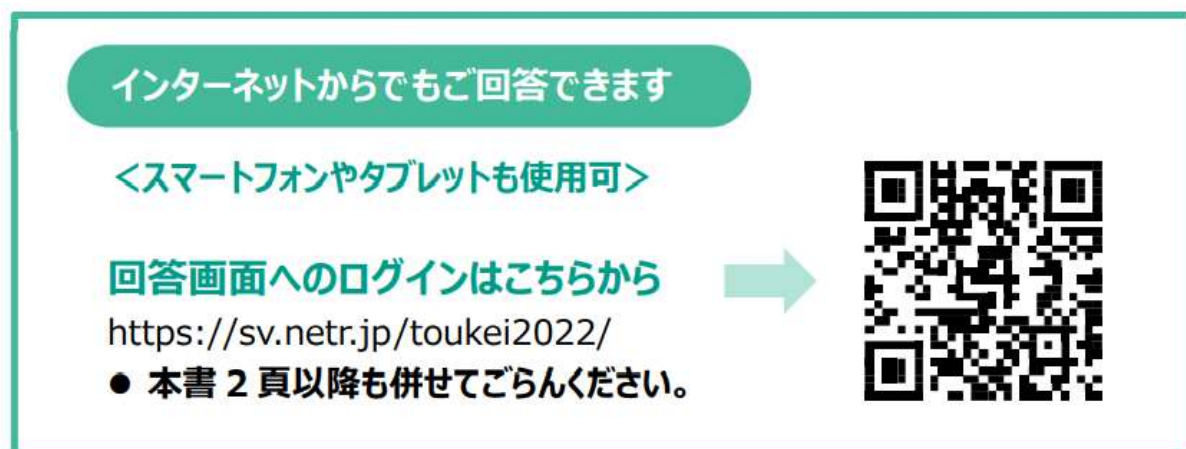


図 2.2.1 インターネット回答画面への QR コード

(2) 委任状方式の実施

委任状方式とは、調査世帯が自らの使用する電気使用量やガス使用量について、エネルギー供給事業者が調査機関に提供するように委任する方式である。委任状方式を実施する地方の選定にあたり、共通の委任状書式で実施できることや当該地方のガス会社の規模等を考慮し、四国地方にて実施することとする。なお、ガス事業者の供給エリアを考慮し、四国地方の 27 地点中 14 地点にて実施する。

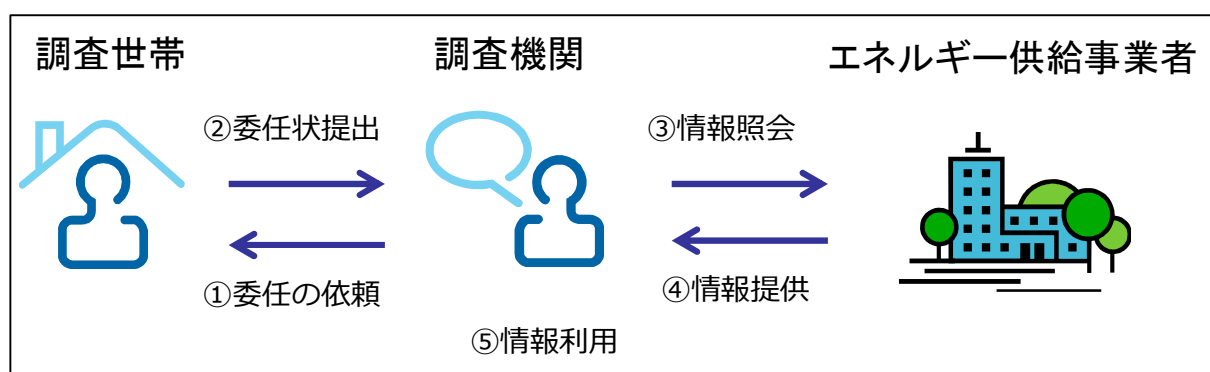


図 2.2.2 委任状方式の概要

(3) Web 閲覧サービス利用の周知

回答の手引きに電気小売事業者及びガス小売事業者の Web 閲覧サービスの URL を記載することとでその活用を促進する。

表 2.2.2 電力取扱い企業の Web 閲覧サービスの一例

電力取扱い企業の Web 閲覧サービスの一例		
※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可		
(令和 3 年 12 月現在の情報)		
企業名	サービス名	サービス URL
北海道電力	Web 料金 お知らせサービス	http://www.hepco.co.jp/home/price/price_info/index.html
東北電力	よりそう e ネット	https://www3.zf1.tohoku-epco.co.jp/
北陸電力	ほくリンク	https://mieruka.rikuden.co.jp/OI008_DOC/contents/login/
東京電力	くらし TEPCO	https://www.kurashi.tepco.co.jp/
中部電力	カテエネ	https://katene.chuden.jp/
関西電力	はび e みる電	https://kepc.co.jp/miruden/
四国電力	よんでんコンシェルジュ	http://www.yonden.co.jp/y-con/
中国電力	ぐっとずっと。WEB	http://www.energia-support.com/
九州電力	キレイライフプラス	https://www.kireilife.net/
沖縄電力	電気ご使用 実績照会サービス	https://www.okiden.co.jp/service/result/

企業名	サービス名	サービス URL
東京ガス	my TOKYO GAS	https://members.tokyo-gas.co.jp/
大阪ガス	マイ大阪ガス	https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html
KDDI	au でんき	https://www.au.com/electricity/
ソフトバンクでんき	おうちでんき	https://www.softbank.jp/energy/
ENEOS	ENEOS でんき	http://www.eneos.co.jp/denki-kyotsu/
	でんきサービス	https://mydenki.jp/private
J:COM 電力	エコレボ	https://www.jcom.co.jp/service/electricity/ecorepo_home/
楽天エナジー	楽天でんき	https://energy.rakuten.co.jp/electricity/
ミツウロコヴェッセル	ミツウロコでんき	https://mitsuurokodenki.jp/
MC リテールエナジー	まちエネ (ローソン)	https://www.machi-ene.jp/
HTB エナジー (H.I.S)	HIS でんき	https://htb-energy.co.jp/
昭和シェル石油	昭和シェルの選べる 電気	https://s-denki.com/

表 2.2.3 ガス小売事業者の Web 閲覧サービス

都市ガス会社の Web 閲覧サービスの一例

※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可



(令和 3 年 12 月現在の情報)

企業名	サービス名	サービス URL
北海道ガス	Tag Tag	https://tagtag.hokkaido-gas.co.jp/portal/Mypage/top
東京ガス	my TOKYO GAS	https://members.tokyo-gas.co.jp/
京葉ガス	ウイズ京葉ガス	https://with.keiyogas.co.jp/login
中部ガス	マイサーラ	https://www.mysala.jp/towngas
東邦ガス	Club TOHO GAS	https://members.tohogas.co.jp/
大阪ガス	マイ大阪ガス	https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html
西部ガス	西部ガスマイページ	http://www.saibugas.co.jp/home/
日本瓦斯 (ニチガス)	My NICIGAS	https://www.nichigas.co.jp/mynicigas/

(4) 回答の手引きの拡充

回答の手引きは、対象世帯が調査票の回答に困った際に参考にする資料であることから、わかりやすいことが求められることから、デザイン性を考慮し、その視認性の向上を図った（参考資料の「回答の手引き」参照）。

(5) 調査票の改定

効率的に対象世帯の状況を把握できるよう調査票の改定を行った。

「住宅の構造」を把握できるよう設問を追加する。

<4月票 問6>

問6 お住まいの構造をお答えください。

※木造と木造以外を組み合わせた構造は、「木造以外」とお答えください。

【一つに〇】

1 木造

2 木造以外（鉄筋コンクリート造、鉄骨造など）

住宅の建築時期で「2021（令和3）年以降」を選択肢へ追加するとともに、選択肢を統合する。

<4月票 問7>

問7 お住まいの建築時期をお答えください。

【一つに〇】

1 1970（昭和45）年以前

2 1971～1980（昭和46～55）年

3 1981～1990（昭和56～平成2）年

4 1991～2000（平成3～12）年

5 2001～2005（平成13～17）年

6 2006～2010（平成18～22）年

7 2011～2015（平成23～27）年

8 2016～2020（平成28～令和2）年

9 2021（令和3）年以降

10 わからない

電気およびガスの検針日を削除する。

<4月票_問15 例月票_問2>※他、4月票の問17（例月票の問4）のガスも同様

問15 4月分の電気の使用状況をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】	使用期間 【数値を記入】	
	※電気の検針票が複数ある場合は、 太陽光発電の売電契約の検針票を除き 、合計値を記入して下さい。			
電気	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円	月 日から	月 日まで

テレビの種類で「ブラウン管」を廃止し、「有機 EL」を追加する。

テレビ・冷蔵庫・エアコンの製造時期で「2021（令和 3）年以降」を追加し、選択肢を統合する。

<夏季票 問 2> ※他、夏季票の問 5 冷蔵庫、問 8 エアコンの製造時期も同様

問 2 テレビの種類、画面サイズ、製造時期（確認できない場合は購入時期で可※）をお答えください。

※中古品を購入してお使いの場合や、譲り受けたものをお使いの場合は、製造時期をお答えください。

※製造時期については、製品本体のラベルや保証書などでお確かめください。

	種類 【一つに〇】				画面サイズ 【数値を記入】	製造時期（購入時期） 【一つに〇】						
	液晶	プラズマ	有機 EL	その他		2000年 以前 (平成12年 以前)	2001年 ～ 2005年 (平成13年 ～17年)	2006年 ～ 2010年 (平成18年 ～22年)	2011年 ～ 2015年 (平成23年 ～27年)	2016年 ～ 2020年 (平成28年 ～令和2年)	2021年 以降 (令和3年 以降)	わからない
1台目 (注)	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7
2台目	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7
3台目	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7

(注)最も使用時間が長いものを1台目にお答えください。

給湯器・給湯システムの設問文及び選択肢の文言を変更する。

<夏季票 問 17>

問 17 お宅にある入浴・洗面用や台所用の給湯器・給湯システムをお答えください。

※故障しているもの、他の世帯と共用のもの、集合住宅の共用部に設置されるものなどを除きます。

※下記の給湯器・給湯システムの一例を参考にしてください。

【あてはまるものすべてに〇】

1	電気ヒートポンプ式給湯器（エコキュート、ネオキュート）
2	電気温水器
3	ガス給湯器（エコジョーズを含む）、ガス風呂がま
4	ガス小型瞬間湯沸器（台所専用のもの）
5	灯油給湯器（エコフィールを含む）、灯油風呂がま
6	太陽熱を利用した給湯器（注）
7	ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）
8	家庭用燃料電池（エネファーム）
9	その他（具体的に：_____）
10	自宅でお湯は出ない（給湯器・給湯システムはない）

3. 家庭 CO₂ 統計の利用促進及び改善に向けた検討

3.1 ニーズ把握の実施

3.1.1 背景・目的・方法

家庭 CO₂ 統計を意義あるものとするためには、統計の利活用の進展・拡大が不可欠である。そのためには、調査項目が時とともに変化する利用者のニーズに即していることや、統計が利用し易いものであることが重要となる。このような理由から、平成 27 年度業務では、全国試験調査の公表に先立ち、エネルギー事業者、機器メーカー、自治体、研究機関等といった、統計の利用が想定される主体を対象に、統計に対するニーズを把握する目的で、11 件の対面によるヒアリングを実施した。また平成 29 年度業務では、その前年度に公表された全国試験調査の結果を紹介しながら、統計利用者として想定される地方自治体や研究者等を主な対象とした 12 件の対面によるヒアリングを実施した。令和 2 年度業務では、これまでに調査票情報の二次利用の申請経験のある研究者や、今後活用の期待される自治体を対象に計 6 件のヒアリングをオンラインにて実施した。

今年度も引き続き、家庭 CO₂ 統計の利用経験がある、もしくは今後利用が期待される主体に対し、統計調査の概要や過年度調査で得られた結果等を紹介し、普段の業務における課題や家庭 CO₂ 統計に対するニーズを把握するとともに、統計の改善に資する意見・要望等を収集することを目的とし、ヒアリング調査を計 5 件実施した。

3.1.2 ヒアリング先

<研究者>

- ・ 研究者 A (11/10 14:00～15:20 @オンライン会議)
- ・ 研究者 B (11/17 14:00～15:30 @オンライン会議)

<新電力事業者>

- ・ 新電力事業者 C (11/16 10:00～11:30 @オンライン会議)

<自治体>

- ・ 自治体 D (11/11 10:00～11:00 @オンライン会議)
- ・ 自治体 E (12/2 14:00～15:30 @オンライン会議)

3.1.3 ヒアリング項目

- ・ 普段の業務における課題、関心事等
- ・ 従来利用している情報源とその課題
- ・ 家庭 CO₂ 統計を活用した理由（若しくは活用を検討した理由）
- ・ 家庭 CO₂ 統計の活用方法・活用成果（活用経験がある場合）
- ・ 家庭 CO₂ 統計の活用可能性（活用経験が無い場合）
- ・ 家庭 CO₂ 統計を活用した感想（活用経験がある場合）
- ・ 家庭 CO₂ 統計の調査項目についての意見・要望
- ・ 家庭 CO₂ 統計の調査設計（調査規模、地域区分）についての意見・要望

- ・ 家庭 CO₂ 統計の公表（公表時期、資料内容、集計事項等）についての意見・要望
- ・ 家庭 CO₂ 統計の新規調査項目案についてのご意見（新電力事業者向けのヒアリング項目）
- ・ その他

3.1.4 ヒアリング調査結果

ヒアリング調査により得られた主な意見を以下に記す。

(1) 研究者

質問事項	回答内容
普段の業務における課題、関心事等	研究者 A ・ エネルギー貧困を主たるテーマとして扱っているので、「省エネ」という視点よりも、エネルギーを十分に消費できているか等の視点に立っている。最も必要なのは所得に関する情報である。所得が大まかなカテゴリーになっているのは望ましくない。できれば所得の実額があるとありがたい。国際比較には実額が必要となる。 研究者 B ・ 石油需要の減少についてマクロな将来予測を行っている。対象は乗用車だけでなく、貨物自動車も含めている。カーボンニュートラルに向けた事業転換を検討しており、水素や電気自動車への電気供給、eFuel（合成燃料など）、燃費の良いガソリンの検討を行っている。また、地方のガソリンスタンドの維持が難しいという課題がある。そのために交通流動を把握できるデータを必要としている。
従来利用している情報源とその課題	研究者 A ・ 家計調査、全国消費実態調査等の個票情報を利用しているが、いずれの情報源も完全にはニーズを満たせていない。 研究者 B ・ 国交省の人口流動統計（OD 統計）、自動車燃料消費調査、総合エネルギー統計といったマクロな統計情報を使用しているが、属性情報が得られない。また、需要予測は経済活動とリンクしないと予測できない。
家庭 CO ₂ 統計の活用理由および活用方法	研究者 A ・ 常に使えるようなデータを確認しており、使えるようなものすべて試しているが、家計調査は1か月毎でサンプルが変わるので使いにくい。家庭 CO₂ 統計ではこの点が克服できている。評価手法開発を主たるテーマとしているので、利用できるものを可能な限り利用して手法を検討している。 ・ エネルギーの格差・貧困に関する新しい指標の開発、および、それを用いた世帯類型別、地域別、季節別の実証分析を行っている。 研究者 B ・ エネルギー・資源学会からの案内で家庭 CO₂ 統計を知った。モビリティの調査項目（自動車の種類や走行距離）があり、かつ家庭の情報もあったため、興味が湧き、研究会に参加して調査票データを利用した。モビリティでは、エネルギー需要分析におけるエネルギー消費原単位に該当するものが1世帯当たり走行距離であるため、走行距離のデータは貴重である。

質問事項	回答内容
	世帯属性別の自動車の使用状況の把握、世帯ごとの走行距離の推計等を得るために活用している。
家庭 CO ₂ 統計を活用した感想	研究者 A - 所得や世帯区分などの属性は十分であるとは言えないと感じた。サンプル数の少なさも課題であると感じたので、サンプルが増えると望ましい。 研究者 B - 家計調査だと、都市ガスの消費量が得られないので、都市ガスの消費量と金額の両方が得られるのは良い。 - 将来予測を行う場合にマクロデータとの接合が必要となる。情報源によってはマクロデータとうまく合わない場合があるが、家庭 CO₂ 統計のデータは思ったよりは合ったという印象がある。
調査事項への意見・要望	研究者 A - エネルギー貧困状態を客観的に把握するためには所得（支払い能力）の数値回答が絶対に必要となる。 - 健康状態を把握できるようなデータも重要である。貧困層でエネルギーを使えないことがどのような問題を引き起こしているかを捕捉することが大切である。健康状態を知る上では、例えば主観的には寒さ等、客観的にはカビの発生状況など、調査項目に加えることも一案かもしれない。 - 客観的なデータだけでなく主観的なデータもあると良い。例えば、部屋の温度を例にとった場合、「部屋を十分に暖かく保つことができているか」というような主観的な質問があると良い。また、温熱環境への満足度（我慢度合い）は把握できると良い。 研究者 B - 世帯収入のカテゴリーはもう少し細かくても良い。 - エネルギー消費が消費支出に占める割合がわかると経済分析が容易にできるので、消費支出があると良い。 - モビリティシフトの検討を行う際には、輸送需要の想定を行う。そのためには公共交通機関の利用状況やそのコスト（電車代、バス代等）、カーシェアやタクシーなどの利用状況もわかると良い。東京におけるカーシェアによる走行距離は輸送需要の3～4%と推計された。今後も増えていくと想定されるため、無視できないと考えている。
調査設計（調査規模、地域区分）への意見・要望	研究者 A - 所得（実額）、世帯区分（より扱いやすく）、地域区分（サンプル数）、健康状態などが把握可能なデータがあると、貧困の観点からも考察が可能であるので、そういったデータがあるとありがたい。 研究者 C - 調査設計には課題を感じていない。
公表方法（公表時期、資料内容、集計事項等）についての意見	研究者 A 公表情報は比較的取得しやすいと思っている。公表時期等は問題ない。
その他	研究者 A

質問事項	回答内容
	- エネルギー貧困状況について、EU 等と比較した場合に日本がどのような状況なのか確認できるようなデータが必要なのではないか。 - 低炭素エネルギーや再生可能エネルギーを貧困層に届ける施策が必要である。生活保護等ではなく、エネルギーを供給するスキームやコミュニティを設ける必要がある。また、エネルギーの過剰消費をどうするか等の視点も重要である。 研究者 B - R3 年度調査から調査事項となっているテレワークの有無は面白い。社会情勢にすぐに対応できているのは良いと思う。 - 地方は温暖化対策として取り残されている印象がある。高齢者も含め、地方でも腑に落ちる生活スタイルを提供してくれる政策を提案していただきたい。

(2) 新電力事業者

質問事項	回答内容
普段の業務における課題、関心事等	- 需要家の属性データが不足している。自社の顧客に対し、社内で保有できる属性情報には制限があり、分析に足る十分な情報を保有できない。 - 需要家のエネルギー消費の特徴の検討や、それと比較した当社需要家の特徴の検討を行いたい。また、機器の使用や保有状況、在宅状況、外出状況等も関心がある。
従来利用している情報源とその課題	- 自社で保有する顧客データベースや外部から購入した HEMS データを利用している。 - 社内データは分布（地域、属性）の偏りに懸念がある。日本全体の母集団の特徴、地域別の差異の判明が難しい。 - 属性関連データの不足で属性分析やセグメント別分析に限界を感じる。 - これまではあまり公的統計を用いたことは無い。
家庭 CO ₂ 統計の活用可能性	- 日本全体や地域別の特徴を確認できるのではないかと期待している。母集団との比較により自社顧客の特徴を把握したい。 - 機器普及状況や都市ガスの普及割合などのデータは社内にはないので、新たな商材の市場規模把握に活用できる。
調査事項への意見・要望	- 世帯主の職業データだけでもあるとありがたい。職業からライフスタイルなどを推定できると考えている。 - 定量的なものだけではなく自由記述による定性的な設問があると良い。 - 電力会社や都市ガス会社のスイッチング状況や再エネメニューへの関心状況も興味がある。 - 給湯器・給湯システムの選択肢にエコワン（ハイブリッド給湯）を追加してはどうか。
調査設計（調査規模、地域区分）	地域別のサンプルの偏りはないかが気になっている。

質問事項	回答内容
への意見・要望	
公表方法（公表時期、資料内容、集計事項等）についての意見	不明や欠測となるデータの取り扱いが気になる。
その他	- 再エネプランの契約状況は、平均的な電源構成であれば、サーチエンジンで検索していただければ把握できるが、個別プランの電源構成については現時点では知見が無い。 - 再エネ契約者数やその推移は、当社は開示しておらず、新電力の業界団体でもそのような動きはない。

(3) 自治体

質問事項	回答内容
普段の業務における課題、関心事等	自治体 D - ナッジを用いた行動変容施策を実施するため、自治体ごとのベースラインとなるデータが欲しい。 - 再エネの普及を促進するにあたり、住宅の屋根置き太陽光発電に力点を置いているが、そのポテンシャルが市内のどこにあるのかを把握したい。 - 家庭のエネルギー消費量だけを捉えるだけでは足りないと考えている。ライフスタイルやライフステージ別の脱炭素行動（消費行動・環境活動）が地域にどう波及してゆくのかの検討を行いたい。ライフステージによってエネルギー消費のしかたは異なるはずである。 自治体 E - 家庭部門の対策には難しさを感じている。当自治体では世帯当たりエネルギー消費原単位は減少しているが、世帯数は増え続けており、家庭部門の排出量が減少していない。カーボンニュートラルに向けて、家庭部門の省エネ対策の負荷が大きくなっており、具体的にどの分野に対して効果的な対策ができるのかについて検討することが喫緊の課題となっている。 - 事業所やビルの省エネ対策を中心に行っているが、家庭向けには対策のリスト（ハンドブック等）を提示することにとどまっている。 - 健康住宅の促進については重要な検討項目であると考えている。環境に良いことが自分の効用として感じられないと行動に繋がらないと感じている。 - 消費者の行動は家庭で完結するものではなく企業の行動にも影響している。環境を意識した購買行動の実施も重要である。
従来利用している情報源とその課題	自治体 D 最新の家電製品のエネルギー消費構造を知りたい。エネ庁ポータルサイトで公表されている 2009 年のデータを使用しているが、最新の情報に更新したものが欲しい。h

質問事項	回答内容
家庭 CO ₂ 統計の活用可能性	自治体 D 世帯のエネルギー消費量のベースラインとなる値が欲しい。これまでは個々に省エネ診断を受けているような世帯でないと、世帯の CO₂ 排出量は分からなかったが、そのような世帯はごく少数で、尚且つ自治体で把握できるようなものでもなかった。家庭 CO₂ 統計であれば、平均的な値ではあるが、ベースラインを得られるのではないかと考えた。ただし、自治体別値が得られなかったことが課題であった。
家庭 CO ₂ 統計の活用理由および活用方法	自治体 E - 家庭部門で、どのような方に対してどのような対策が実施可能かを検討するために、昨年度から二次利用を行っている。今年度は経年的な分析に加えて、前年度分析できなかった切り口での分析も検討している。若者の環境意識が高いという点を考慮し、年齢別での切り口での分析も検討している。 - 啓発資料の中で、二次利用申請で得た都内のデータを用いた分析結果を使用した。 - まずは家庭 CO₂ 統計の公表の際に出されている資料編に掲載されている図表の当自治体版を作成し、その特徴の検討をしている。
家庭 CO ₂ 統計を活用した感想	自治体 E - 月別値が得られたことによって、季節変動によるエネルギー消費傾向を把握できたことは非常に良かった。 - データの手続きが面倒であった。取得までのやり取りに 3 か月以上かかり、非常に手間がかかった。 - どのような分析をすればよいのかわからないため、公表資料の資料編との比較を行っているが、量が多いため全てを把握できていない。家庭 CO₂ 統計は宝の山なので、多くの自治体がその価値にうまく気付けると良い。
調査事項への意見・要望	自治体 D - 電力の契約状況は自治体では確認することが難しいため、再エネ電力の使用状況を把握したい。 - 用途推計での「照明・家電製品等」というカテゴリーは粗いと感じている。デジタル化に伴い、「家電」かどうかの線引きが難しい機器も増えてきている。そういったものの普及がどのように影響しているのかが、「照明・家電製品等」というカテゴリーではよくわからない。 - 経年トレンドでの世帯当たりエネルギー消費量の減少トレンドが、省エネ行動によるものなのか、機器の高効率化によるものなのか、それとも他の要因なのか、その点が示されているデータがあれば良い。 - 新たな家電の登場によりエネルギー消費構造が変わってきていると思う。そのような時代の流れが捕捉できると良い。 - 脱炭素への意識に関する定性的な主観データがあっても良いのではないかと。 - 消費行動、特に環境配慮行動（環境配慮製品の購買状況など）に関する

質問事項	回答内容
	調査項目があっても良いかもしれない。脱炭素ライフスタイルの推進においては「消費」「住まい」「繋がり」が重要と整理している。このうち「消費」は、国内の排出量への影響は小さいかもしれないが、サプライチェーンへの影響は大きいと思われる。 自治体 E - 家庭にどの程度の省エネ家電が普及しているか、いつ購入したものなのか等について、所得別の傾向を捉えたデータがあるとよい。 - 住まい方についても、年収別の傾向や CO₂ 排出量に与える影響等のデータがあると良い。 - 住宅のハード的なスペックも重要だが、機器の使い方等のソフト面の効果が定量的に示されているとありがたい。 - 再生可能エネルギーへの転換率なども興味がある。
調査設計（調査規模、地域区分）への意見・要望	自治体 E 当自治体の調査世帯数をもっとあればなお良いと感じた。
公表方法（公表時期、資料内容、集計事項等）についての意見	自治体 D 1世帯当たりの世帯人数が減少傾向にあり、単身世帯が増えている中で、世帯当たりの排出量が減少傾向にあることだけを示すのはミスリードであると思う。公表資料では1人当たり排出量を示すべきではないか。 - 二次利用申請の手続きの煩雑さと情報入手までに要する時間が長いことにより、申請を断念した。個票情報を利用して分析した結果を、とある会議で使用したかったが、それに間に合わなかった。 - 参考資料で良いので、自治体別のデータが公開されていると使いやすい。精度の面で課題があることは承知しているが、それを実際に使うか否かの判断は自分たちでできる。自治体別値が得られないことについて、勿体ないと感じている自治体も多いと思う。利用者側のリテラシーに任せた公表の仕方があっても良いのではないか。情報公開請求すれば開示されるような情報を秘匿にする理由が分からない。 - 基礎自治体別値の公表は難しいだろうが、せめて都道府県別値が得られると良い。現状の公表値だと、自分たちの努力が見えず、我が事とは感じてもらえない。 - 世の中ではオープンデータ化の流れがある。誰でも使えるようにすれば、面白いものが出てくるようになるのではないか。 自治体 E - 今後オープンデータ化やダッシュボードの活用が求められるのではないかと。特にダッシュボードを用いることでまだ見つかっていない切り口を発見しやすくなるので検討いただけるとありがたい。 - どのような切り口で説明すると人は行動に移すのかという観点が重要であると考えている。例えば住宅の築年数については、わからない住居者もいるのではないかと。そのような方々に築年数別の集計を示しても我が事だとは感じられない。分かりやすい切り口（属性）からストーリーを構築できると良い。

3.1.5 課題

(1) 調査票情報の二次利用

自治体からは、二次利用申請手続きが煩雑で手間と時間を要することに対し、改善の要望があった。普段の業務が多忙な方々にはハードルが高いものと考えられる。また自治体からは、調査票情報のオープンデータ化についての要望もあったが、統計法に抵触するため、現状では不可能である。一方で、エネルギー・資源学会で、調査票情報の二次利用ができる枠組みが用意されており、当該学会関係者にとって、利用のハードルが大きく下がっている。

(2) 調査項目

以下の項目に対する要望があった。

- 所得（実額）
- 消費支出
- 健康状態に関する情報
- 温熱環境に対する満足度、我慢の状況
- 公共交通機関の利用状況およびその利用コスト
- カーシェアリングの利用状況
- 世帯主の職業
- 電力会社のスイッチング状況
- 再生可能エネルギーを利用した電気の契約状況およびその関心度
- 環境配慮行動の実施状況

家庭 CO₂ 統計は、世帯別エネルギー消費量および CO₂ 排出量を目的変数とした統計調査で、基本的に、目的変数に対して一定の影響度を持つと考えられるものを説明変数として採用している。今回得られた要望は必ずしも、世帯別エネルギー消費量および CO₂ 排出量に主眼があるわけではないものも含まれているため、調査の目的との整合性から検討する必要がある。また、非常に調査難易度の高いものもあるため、実際に新規調査項目の候補として含めるべきかどうかの精査も必要となる。

(3) 調査設計・公表

以下の要望があった。

- 昨年と同様に、自治体にとっては、自分たちの自治体の値が公表されることへの要望があった。統計学的な正しさ・精緻さに問題があっても、その判断は利用者側に委ねる方が良いとの意見もあった。

上記意見については、家庭 CO₂ 統計が政府統計である以上、統計学的な正しさ・精緻さを無視

することはできず、利用者側にその点の判断を委ねることもできない。当面は都道府県別、自治体別に推計する式を開発して提供することが現実的な提案になると考えられる。

3.2 e-Stat のデータベース化

(1) e-stat データベースの使用目的

政府統計のポータルサイト「e-Stat」上で、これまではエクセルファイルの約 700 の統計表を掲載してきた。e-Stat データベースは、この統計表をデータベース形式で登録することで、e-Stat 上で、表頭・表側項目や対象地域を選択して、統計表を整表できるものである。

(2) 今年度の業務範囲

今年度、データベース化の対象として、平成 31 年度調査の全国版と地方版の全ての統計表のデータベース登録を行った。

(3) e-Stat データベースへの登録方法

e-Stat データベースの登録は、データベースの登録メニューに加えて、エクセルマクロでの業務支援ツールが、統計センターにより用意されている。これらの機能を組み合わせて、約 700 の統計表の効率的な登録を行うことを念頭に、データベース設計と作業手順の定義を行った。

<データベースの設計>

データベースの設計では、登録すべきデータの種別とそのパターンを整理し、登録に必要なテーブル内容と構造を定義した。

- 登録すべきエクセルファイル数
全国：第 1 表～第 7 表 67 表 =67 表
10 地方：第 1 表～第 7 表 67 表 =670 表 ⇒全 737 表
- 表側のパターンを分析し、登録すべき表側テーブルを定義
- 表頭のパターンを分析し、登録すべき表頭テーブルを定義
- 地方区分、単位などの付帯情報を分析し、登録すべき欄外テーブルを定義

<データベース登録の作業手順>

登録すべきテーブルの構成を踏まえて、作業手順を定義した。

- 全国版統計表で使用する分類事項テーブルの登録
表側テーブル、表頭テーブル、単位テーブル
- 全国版の統計表ファイルの登録
e-stat から DB 連携で自動設定
- 全国版の統計表分のデータベースの登録
- 全国版の統計表分のパラメータファイルの登録
分類事項テーブルと統計表ファイル、データベースをつなぐパラメータを設定
- 全国版の統計表分のデータベースへのデータロード
e-stat 上にデータベースが表示される
- 地方版統計表で使用する分類事項テーブルの登録

表側テーブル、表頭テーブル、単位テーブル

- 地方版の統計表ファイルの登録

e-stat から DB 連携で自動設定

- 地方版の統計表分のデータベースの登録
- 地方版の統計表分のパラメータファイルの登録

分類事項テーブルと統計表ファイル、データベースをつなぐパラメータを設定

- 地方版の統計表分のデータベースへのデータロード
e-stat 上にデータベースが表示される

(4) 登録データベースへの検査方法

e-Stat データベースに登録したデータについて、以下の方法で検査を行った。

<全国版データベースの検査>

- e-stat に登録した全 67 個のデータベースから、それぞれ全データをダウンロードし、e-Stat に登録されている統計表エクセルと以下が一致しているかを確認した。

表頭の記載内容

表側の記載内容

単位

任意の 1 列のすべてのデータ

任意の 1 行のすべてのデータ

<地方版データベースの検査>

- e-stat に登録した 67 表×10 地方=670 個のデータベースから、1 地方につき 7 個程度として 67 個のデータベースから、それぞれ全データをダウンロードし、e-Stat に登録されている統計表エクセルと以下が一致しているかを確認した。

表頭の記載内容

表側の記載内容

単位

任意の 1 列のすべてのデータ

任意の 1 行のすべてのデータ

(5) データベース登録作業の所用期間

e-Stat データベースへの登録作業では、収録内容の分析から、データベース設計、登録作業、検査で 7 ヶ月の期間を要した。

- メタデータ分析：令和 3 年 7 月
- データベース分析：令和 3 年 8 月
- データベース設計：令和 3 年 9 月

- サンプル DB 作成：令和 3 年 10 月
- 環境省にてデータベース設計内容の確認：令和 3 年 10 月
- 全国版データベース収録：令和 3 年 11 月
- 全国版データベース検査：令和 3 年 12 月
- 地方版データベース収録：令和 3 年 1 月
- 地方版データベース検査：令和 3 年 1 月

参考資料

令和4年度	家庭部門のCO ₂ 排出実態統計調査	調査票	
(1)	エネルギー使用量調査票	4月票	33
(2)	エネルギー使用量調査票	例月票	41
(3)	夏季調査票<8月末時点>		45
(4)	冬季調査票<2月末時点>		57
回答の手引き			63

(1) エネルギー使用量調査票 4 月票

					—		
--	--	--	--	--	---	--	--



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。



一般統計調査

環境省

4月

家庭部門のCO₂排出実態統計調査
エネルギー使用量調査票
＜令和4年4月分＞

I. 4月末時点の世帯の状況についてお伺いします。

問1 4月末時点で、あなたのお宅に居住している方（あなた自身を含める）は何人ですか。

※単身赴任や下宿等で、ふだんお宅に同居していない方は除きます。

【数値を記入】

	人
--	---

問2 問1でお答えの居住者について、世帯主からみた続柄、年齢、就業状態をお答えください。

※1人目は世帯主についてお答えください（世帯主が同居していない場合を除く）。

※続柄については世帯主からみての続柄をお答えください。

※続柄の「親」「祖父母」「他の親族」は、それぞれ配偶者の「親」「祖父母」「他の親族」を含みます。

※在宅勤務とは、自宅を就業場所として働く勤務形態のことをいいます。自宅以外の場所での就業は除きます。

※学生・生徒がアルバイトをしている場合の就業状態は「就業者でない」とお答えください。

※二世帯住宅の場合は、電気の契約者を世帯主としてお答えください。

※横1列内に、続柄→年齢→就業状態の順でひとりずつお答えください。

		世帯主からみた続柄 【一つに○】							年齢 【一つに○】										就業状態 【一つに○】		
		世帯主	世帯主の配偶者	子・子の配偶者	親	祖父母	孫	その他	0 ～ 9 歳	10 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 74 歳	75 歳 以上	(在宅勤務あり) 就業者	(在宅勤務なし) 就業者	就業者でない	
例	1人目	①	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	①	2	3	
	2人目		②	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	1	2	③	
	1人目	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	2人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	3人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	4人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	5人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	6人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	7人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	8人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	9人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
	10人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	

↓
問4へお進みください

問3 問2でお答えの世帯主について、4月末時点での平均的な在宅勤務日数と在宅勤務時間をお答えください。

※在宅勤務とは、自宅を就業場所として働く勤務形態のことをいいます。自宅以外の場所での就業は除きます。

平均的な在宅勤務日数 【数値を記入】	1 週間のうち 日						
1 日の平均的な在宅勤務時間 【一つに○】	<table border="0"> <tr> <td>1 4 時間未満</td> <td>2 4 時間～6 時間未満</td> </tr> <tr> <td>3 6 時間～8 時間未満</td> <td>4 8 時間～10 時間未満</td> </tr> <tr> <td>5 10 時間以上</td> <td></td> </tr> </table>	1 4 時間未満	2 4 時間～6 時間未満	3 6 時間～8 時間未満	4 8 時間～10 時間未満	5 10 時間以上	
1 4 時間未満	2 4 時間～6 時間未満						
3 6 時間～8 時間未満	4 8 時間～10 時間未満						
5 10 時間以上							

問4 お宅では、ふだん平日の昼間に在宅者がいますか。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

1 ほぼ毎日いる	2 週 3～4 日いる
3 週 1～2 日いる	4 ほとんどいない

Ⅱ. 4 月末時点のお住まいの状況についてお伺いします。

問5 お住まいの建て方をお答えください。

※隣世帯と壁を共有して建てられた長屋建、テラスハウスは集合住宅とお答えください。

【一つに○】

1 戸建住宅	2 集合住宅（マンション、アパート、長屋、テラスハウス）
-----------	---------------------------------

問6 お住まいの構造をお答えください。

※木造と木造以外を組み合わせた構造は、「木造以外」とお答えください。

【一つに○】

1 木造	2 木造以外（鉄筋コンクリート造、鉄骨造など）
---------	----------------------------

問7 お住まいの建築時期をお答えください。

【一つに○】

1 1970（昭和 45）年以前	2 1971～1980（昭和 46～55）年
3 1981～1990（昭和 56～平成 2）年	4 1991～2000（平成 3～12）年
5 2001～2005（平成 13～17）年	6 2006～2010（平成 18～22）年
7 2011～2015（平成 23～27）年	8 2016～2020（平成 28～令和 2）年
9 2021（令和 3）年以降	10 わからない

問 8 お住まいの所有関係をお答えください。

【一つに〇】

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 持ち家・分譲（住宅、マンション） |
| 2 | 民営の賃貸住宅 |
| 3 | 公営（都道府県・市区町村営）、公社または都市再生機構（UR）の賃貸住宅 |
| 4 | 給与住宅（社宅、公務員住宅など） |

問 9 お住まいの延床面積をお答えください。

※延床面積とは、建物の各階の床面積の合計です。敷地面積、建築面積ではありません。

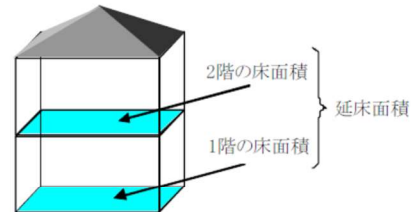
※アパート・マンションなどの集合住宅の場合は、専有部の床面積をお答えください。

※延床面積の単位は㎡（平方メートル）、あるいは坪数でお答えください。

【数値を記入】

㎡	あるいは	坪
---	------	---

※1 坪は約 3.3 ㎡です。



問 10 お住まいの居室数をお答えください。

※食事室兼台所（ダイニング・キッチン）、居室兼食事室兼台所（リビング・ダイニング・キッチン）は居室に含めます。同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している室も含めます。（例：3LDK⇒居室数 4 室、2DK⇒居室数 3 室）

※食事室のない台所（キッチン）は居室に含めません。（例：1K⇒居室数 1 室）

【数値を記入】

室

問 11 お住まいには、二重サッシまたは複層ガラスの窓はありますか。

【一つに〇】

- | | | | |
|---|----------|---|---------|
| 1 | すべての窓にある | 2 | 一部の窓にある |
| 3 | ない | 4 | わからない |

Ⅲ. 機器・設備についてお伺いします。

問 12 お宅での家庭用エネルギー管理システム（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）の導入状況についてお答えください。

※HEMS とは、エネルギー使用状況を専用の画面やパソコン、スマートフォンなどに表示することなどにより、家庭における省エネルギーを支援するシステムのことを言います。家電機器などの最適運転を行う機能をもつものもあります。

【一つに〇】

- | | | | | | |
|---|--------|---|---------|---|-------|
| 1 | 導入している | 2 | 導入していない | 3 | わからない |
|---|--------|---|---------|---|-------|

問 13 お宅での家庭用蓄電システムの使用状況についてお答えください。

※家庭用蓄電システムとは、電力会社から購入する電気や太陽電池等で発電された電気を充電して、必要な時に家庭内の電気機器に電気を供給するシステムです。V2H（自動車に蓄えた電気を家庭内に供給して使うシステム）を含みます。

※アパート・マンションなどの集合住宅の場合、共用部などに設置されているものは含みません。

【一つに〇】

1 使用している	2 使用していない	3 わからない
----------	-----------	---------

問 14 お宅では、家庭用燃料電池（エネファーム）、ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）、ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）を使用していますか。

【一つに〇】

1 家庭用燃料電池（エネファーム）	2 ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）
3 ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）	4 いずれも使用していない

↓
問 15 へお進みください

問 14-2 問 14 でお答えの設備について、余った電気を売却（売電）する契約をしていますか。

※太陽光発電による売電とは異なります。

【一つに〇】

1 している	2 していない
--------	---------

IV. エネルギーの使用状況についてお伺いします。

問 15 4 月分の電気の使用状況をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4 月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】	使用期間 【数値を記入】	
	※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。			
電気	千 百 十 一 [][][][] kWh	万 千 百 十 一 [][][][][] 円	月 日から	月 日まで

(注 1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

問 15-2 お宅が契約している電力会社をお答えください。

【一つに〇】

1 北海道電力	7 中国電力
2 東北電力	8 四国電力
3 東京電力エナジーパートナー	9 九州電力
4 北陸電力	10 沖縄電力
5 中部電力	11 その他
6 関西電力	(会社名：)

問 16 4月の太陽光発電の使用の有無をお答えください。使用が有る場合は発電・売却（売電）の電力量、受領金額、太陽電池の総容量をお答えください。

※集合住宅の共用部に電力を供給するものを除きます。

	使用 【一つに○】		電力量 【数値を記入】	受領金額 【数値を記入】
太陽光発電	1 有	発電 (注1)	千 百 十 一 [][][][] kWh	
	2 無	売却 (売電) (注2)	千 百 十 一 [][][][] kWh	
		(注1) 表示モニタなどをもとにお答えください。 売却 (売電) と期間が整合しなくても構いません。 (注2) 「4 月分」の検針票をもとにお答えください。		
		【数値を記入】		
		太陽電池の総容量 (注)	+ - [][] . [] kW	
(注) 太陽電池の総容量は、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで記入してください。				

問 17 へお進みください

問 17 4月時点のガスの契約の有無をお答えください。契約している場合は4月分の使用量、ガス料金、使用期間とガスの種類、ガス会社の名称をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4 月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	契約 【一つに○】	ガス使用量 (注1) 【数値を記入】	ガス料金 (注2) 【数値を記入】
ガス	1 有	百 十 一 [][][] . [] m ³	万 千 百 十 一 [][][][][] 円
	2 無	使用期間 【数値を記入】	
		月 日 ~	月 日

問 18 へお進みください

(注1) LP ガスの使用量は、小数点第1位までお答えください(整数で記載されている場合を除く)。
 (注2) ガス料金と一緒に電気料金や他の燃料代 (灯油等)、警報器リース料金等が請求されている場合は、それらをガス料金に含めないでください。

		【一つに○】
ガスの種類	1 都市ガス	2 LP (プロパン) ガス
【名称を記入】		
ガス会社名 (注)		

(注) 例) ○○ガス、△△市ガス局

問 18 あなたの世帯の4月中の灯油、ガソリン、軽油の購入の有無をお答えください。購入が有る場合は、それぞれ購入量と支払金額をお答えください。

※主に事業用に使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。

※レンタカーなど、一時的に利用した車両のための購入を除きます。

※4月中に複数回購入した場合は、合計値を記入してください。

※世帯全体についてお答えください。

	購入 【一つに○】			購入量 【数値を記入】	支払金額 【数値を記入】
	有	無			
灯油	1	2	有の場合 →	百 十 一 □ □ □ . □ □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
ガソリン	1	2	→	百 十 一 □ □ □ . □ □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
軽油	1	2	→	百 十 一 □ □ □ . □ □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円

V. その他

問 19 4月中に、旅行等で5日間以上、居住者全員が不在になることがありましたか。

【一つに○】

1 あった	2 なかった
-------	--------

問 20 お宅では以下の状況に該当する方（あなた自身を含める）はいますか。

※該当する方が一人でもいる場合「いる」と回答してください。

【それぞれ一つに○】

	いる	いない
光熱費を節約するため、省エネを心がけている方	1	2
地球温暖化対策のため、省エネを心がけている方	1	2
他の世帯が省エネ行動をしているため、省エネを心がけている方	1	2
上記以外の理由で省エネを心がけている方	1	2
明確な理由はないが、省エネを心がけている方	1	2

※ここでのいう省エネとは、日常の生活の中で電気やガスなどのエネルギーを無駄にしないようにすることをいいます。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(2) エネルギー使用量調査票 例月票



統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。



一般統計調査

環境省

家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査
エネルギー使用量調査票
＜令和〇年〇月分＞

問 1 ○月中の、エネルギー消費に影響する以下の項目についてお答えください。また、1から12にあてはまらない場合は、「13 上記1～12にあてはまるものは無い」に○印をつけてください。

【あてはまるものすべてに○】

1 世帯全体で転居した

2 居住人数が変化した → (_____ 人 から _____ 人 へ)

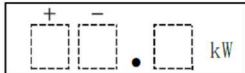
3 住宅を増築、または建て替えた

4 電力会社を変更した → (変更後の会社名 : _____)

5 ガス会社を変更した → (変更後の会社名 : _____)

6 給湯器を買い替えた
→ (買い替え前のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス 3 灯油 4 太陽熱給湯器)
→ (買い替え後のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス 3 灯油 4 太陽熱給湯器)

7 台所用コンロを買い替えた
→ (買い替え前のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス)
→ (買い替え後のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス)

8 太陽光発電を新規に導入または太陽電池の総容量に変化があった
→ 太陽電池の総容量 :  kW ※集合住宅の共用部に電力を供給するものを除きます。
※小数点第 2 位で四捨五入し、小数点第 1 位まで記入してください。

9 家庭用燃料電池（エネファーム）を導入した → (売電契約の有無 : 1 有 2 無)

10 ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）を導入した → (売電契約の有無 : 1 有 2 無)

11 旅行等で 5 日間以上、居住者全員が不在の日があった

12 その他（具体的に : _____)

13 上記 1～12 にあてはまるものは無い

問2 ○月分の電気の使用状況をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「〇月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「〇月〇日」と記載されている検針票をもとに回答してください。									
電気使用量【数値を記入】			電気料金(注1)【数値を記入】			使用期間【数値を記入】			
※電気の見針票が複数ある場合は、 <u>太陽光発電の売電契約</u> の見針票を除き、合計値を記入して下さい。									
電気	千	百	十	一	万	千	百	十	一
	kWh				円				
					月	日から	月	日まで	

(注1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

問3 ○月の太陽光発電の使用の有無をお答えください。使用が有る場合は発電・売却（売電）の電力量、受領金額をお答えください。

※集合住宅の共用部に電力を供給するものを除きます。

	使用【一つに○】		電力量【数値を記入】	受領金額【数値を記入】
太陽光 発電	1 有	発電 (注1)	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
	2 無	売却（売電）(注2)	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	

問4へお進みください

(注1) 表示モニタなどをもとにお答えください。売却（売電）と期間が整合しなくても構いません。
(注2) 「○月分」の検針票をもとにお答えください。

問4 ○月時点のガスの契約の有無をお答えください。契約している場合は○月分の使用量、ガス料金、使用期間をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「○月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	契約【一つに○】	ガス使用量 (注1) 【数値を記入】	ガス料金 (注2) 【数値を記入】
ガス	1 有	百 十 一 □ □ □ . □ m ³	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
	2 無	使用期間【数値を記入】	
		月 日 ~	月 日

問5へお進みください

(注1) LPガスの使用量は、小数点第1位までお答えください（整数で記載されている場合を除く）。
(注2) ガス料金と一緒に電気料金や他の燃料代（灯油等）、警報器リース料金等が請求されている場合は、それらをガス料金に含めないでください。

問5 あなたの世帯の○月中の灯油、ガソリン、軽油の購入の有無をお答えください。購入が有る場合は、それぞれ購入量と支払金額をお答えください。

※主に事業用に使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。

※レンタカーなど、一時的に利用した車両のための購入を除きます。

※○月中に複数回購入した場合は、合計値を記入してください。

※世帯全体についてお答えください。

	購入【一つに○】			購入量【数値を記入】	支払金額【数値を記入】
	有	無			
灯油	1	2	有の場合	百 十 一 □ □ □ . □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
ガソリン	1	2	有の場合	百 十 一 □ □ □ . □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
軽油	1	2	有の場合	百 十 一 □ □ □ . □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(3) 夏季調査票 <8 月末時点>

				—		
--	--	--	--	---	--	--



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



一般統計調査

環境省

家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査
夏季調査票
＜令和 4 年 8 月末時点＞

I. 家電製品などについてお伺いします。

問 1 テレビの使用台数をお答えください。

※月に 1 回以上使用するものをお答えください。テレビ番組の視聴に限らず、ビデオ鑑賞やテレビゲームでの使用などを含みます。テレビの見られるパソコンなどは含みません。
※保有していない場合や使用していない場合も空欄とせず、必ず「0」とご記入ください。

【数値を記入】

	台
--	---

→ 0 台の場合は、問 4 へお進みください

問 2 テレビの種類、画面サイズ、製造時期（確認できない場合は購入時期で可※）をお答えください。

※中古品を購入してお使いの場合や、譲り受けたものをお使いの場合は、製造時期をお答えください。
※製造時期については、製品本体のラベルや保証書などでお確かめください。

	種類 【一つに○】				画面サイズ 【数値を記入】	製造時期（購入時期） 【一つに○】						
	液晶	プラズマ	有機 EL	その他		2000年 以前 (平成12年 以前)	2001年 ～ 2005年 (平成13年 ～17年)	2006年 ～ 2010年 (平成18年 ～22年)	2011年 ～ 2015年 (平成23年 ～27年)	2016年 ～ 2020年 (平成28年 ～令和2年)	2021年 以降 (令和3年 以降)	わからない
1台目 (注)	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7
2台目	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7
3台目	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7

(注)最も使用時間が長いものを 1 台目にお答えください。

問 2-2 1 台目のテレビについて、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※テレビ番組の視聴に限らず、ビデオ鑑賞やテレビゲームでの使用などを含めてお答えください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

1	1 時間未満	2	1 時間～2 時間未満	3	2 時間～4 時間未満
4	4 時間～8 時間未満	5	8 時間～12 時間未満	6	12 時間～16 時間未満
7	16 時間以上				

問 3 お宅でのテレビに関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用している場合は、1 台目（最も使用時間が長いもの）についてお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施している	実施していない
テレビの明るさを抑えている	1	2
テレビを使用しないときは主電源をオフにしている	1	2

問 4 冷蔵庫（冷凍庫を含む）の使用台数をお答えください。

※保有していない場合や使用していない場合も空欄とせず、必ず「0」とご記入ください。

【数値を記入】

台

→ 0 台の場合は、問 7 へお進みください

問 5 冷蔵庫（冷凍庫を含む）の種類、内容積、製造時期（確認できない場合は購入時期で可※）をお答えください。

※中古品を購入してお使いの場合や、譲り受けたものをお使いの場合は、製造時期をお答えください。

※内容積・製造時期については、製品本体のラベルや保証書などでお確かめください。

	種類 【一つに○】			内容積 【数値を記入】	製造時期（購入時期） 【一つに○】						
	冷凍冷蔵庫 (注)	冷蔵庫 (注)	冷凍庫		2000年 以前 (平成12年 以前)	2001年 ～ 2005年 (平成13年 ～17年)	2006年 ～ 2010年 (平成18年 ～22年)	2011年 ～ 2015年 (平成23年 ～27年)	2016年 ～ 2020年 (平成28年 ～令和2年)	2021年 以降 (令和3年 以降)	わからない
1台目 (注)	1	2	3	リットル	1	2	3	4	5	6	7
2台目	1	2	3	リットル	1	2	3	4	5	6	7

(注)最も内容積の大きいものを 1 台目にお答えください。

(注)「冷凍冷蔵庫」とは、冷蔵庫および冷凍専用室がそれぞれ 1 つ以上あるものを言います。

(注)「冷蔵庫」とは、冷凍専用室がないものを言います。

問6 お宅での冷蔵庫（冷凍庫を含む）に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用している場合は、1台目（最も内容積が大きいもの）についてお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施している	実施していない
冷蔵庫の温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている	1	2
冷蔵庫に物をつめこみ過ぎないようにしている	1	2
冷蔵庫を開けたままにしたり、むやみに開閉しないようにしている	1	2

問7 エアコンの使用台数をお答えください。

※現在保有していて、年間を通じて1回以上使用するものをお答えください。

※マルチエアコン（室外機1台に対して室内機が複数台あるエアコン）については室内機の使用台数をお答えください。

※保有していない場合や使用していない場合も空欄とせず、必ず「0」とご記入ください。

【数値で記入】

台

→
 0台の場合は、問11へお進みください

問8 エアコンの種類、製造時期（確認できない場合は購入時期で可※）をお答えください。

※賃貸住宅や中古で購入した住宅にお住まいで元々設置されていたものをお使いの場合、中古品を購入してお使いの場合、譲り受けたものをお使いの場合は、製造時期をお答えください。

※製造時期については、製品本体のラベルや保証書などでお確かめください。

	種類【一つに○】		製造時期（購入時期）【一つに○】						
	冷房と暖房ができる	冷房のみできる	2000年以前 (平成12年以前)	2001年～2005年 (平成13年～17年)	2006年～2010年 (平成18年～22年)	2011年～2015年 (平成23年～27年)	2016年～2020年 (平成28年～令和2年)	2021年以降 (令和3年以降)	わからない
1台目(注)	1	2	1	2	3	4	5	6	7
2台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7
3台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7
4台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7
5台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7

(注)夏に最もよく使うものを1台目にお答えください。夏に使用しない場合は夏以外で最もよく使うものを1台目にお答えください。

問8-2 1台目のエアコンについて、暑い時期（8月頃）の、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

1 0時間（使用しない）

2 2時間未満

3 2時間～4時間未満

4 4時間～8時間未満

5 8時間～12時間未満

6 12時間～16時間未満

7 16時間～24時間未満

8 24時間（一日中）

→ 問11へお進みください

問 8-3 1 台目のエアコンについて、冷房時の設定温度をお答えください。

※設定温度をよく変更する場合は、平均的な温度をお答えください。

【数値を記入】

℃

問 9 お宅での、ペットのためのエアコン（冷房）の使用についてお答えください。

【一つに○】

1 ペットのために使用する	2 ペットのためには使用しない	3 ペットはいない
---------------	-----------------	-----------

問 10 お宅でのエアコンに関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用の場合は、1 台でも実施していれば「実施している」とお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施している	実施していない
エアコンの室外機の吹き出し口に物を置かないようにしている	1	2
冷房時にすだれやブラインドなどで日射をさえぎるようにしている	1	2

問 11 以下に掲げる家電製品などの使用有無をお答えください。使用している機器に関しては使用台数をお答えください。

※現在保有していて、年間を通じて1回以上使用するものをお答えください。

	使用 【一つに○】		有の 場合	使用台数 【数値を記入】			有の 場合	使用台数 【数値を記入】	
	有	無							有
洗濯機 (乾燥機能なし)	1	2	→	台	電気ポット	1	2	→	台
洗濯機 (乾燥機能付)	1	2	→	台	ウォーターサーバー(注)	1	2	→	台
衣類乾燥機(電気)	1	2	→	台	温水洗浄便座	1	2	→	台
衣類乾燥機(ガス)	1	2	→	台	暖房便座(温水 洗浄機能なし)	1	2	→	台
浴室乾燥機	1	2	→	台	加湿器	1	2	→	台
食器洗い乾燥機	1	2	→	台	除湿機	1	2	→	台
食器乾燥機	1	2	→	台	空気清浄機	1	2	→	台
電子レンジ	1	2	→	台	パソコン	1	2	→	台
ガスオーブン	1	2	→	台	ビデオレコーダー (DVD・ブルーレイ を含む)	1	2	→	台
電気炊飯器	1	2	→	台	インターネットモデム・ インターネットルーター	1	2	→	台
ガス炊飯器	1	2	→	台	(注) 温水を作る機能と冷水を作る機能、もしくはどちらか一方を有するもので、宅配製品水を供給する装置のことを				

問 11-2 問 11 で洗濯機（乾燥機能付）、衣類乾燥機（電気）、衣類乾燥機（ガス）、浴室乾燥機を 1 台以上使用していると回答した方にお聞きします。

洗濯後の衣類の乾燥に、乾燥機能をどの程度使っていますか。

※1 年を通した平均的な使い方をお答えください。

【一つに○】

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 週 5 回以上 | 2 週 3～4 回 |
| 3 週 1～2 回 | 4 週 1 回未満 |

問 12 お宅で使用している設備・機器についてお答えください。

※現在保有していて、年間を通じて 1 回以上使用するものをお答えください。

【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 犬・猫などのペットの電気式自動給水器 | 2 水槽用保温ヒーター（熱帯魚など） |
| 3 水槽用ライト（熱帯魚など） | 4 水槽、池の水のろ過用ポンプ |
| 5 いずれも使用していない | |

問 13 お宅での家電製品に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用の場合は、1 台でも実施していれば「実施している」とお答えください。

※当該製品を保有していない、使用していない、設定ができない場合は「該当しない」とお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施して いる	実施して いない	該当しな い
温水洗浄便座の温水の設定温度を低めにしている	1	2	3
冬以外は暖房便座機能を使用しない	1	2	3
パソコンを使用しないときは電源を切るか低電力モード（“スリープ”等）に切り替えている	1	2	3
炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている	1	2	3

問 14 ふだんお使いになる照明について、以下の場所ごとに使用している照明の種類をお答えください。

※スタンド照明や机に組み込まれた照明を除きます。

※居室が 1 部屋の場合は、「個室」ではなく「居間」としてお答えください。

※該当する場所がお宅にない場合は「該当しない」とお答えください。

【それぞれあてはまるものすべてに○】

	白熱電球	蛍光灯	LED	その他	種類不明 の照明	該当しない
居間	1	2	3	4	5	
食卓・食事室	1	2	3	4	5	6
台所	1	2	3	4	5	6
個室	1	2	3	4	5	6
その他の場所	1	2	3	4	5	6

居間で複数の種類の照明を使用している場合のみ、問 14-2 もお答えください

問 14-2 居間で複数の種類の照明をお使いの場合、最も使用時間の長いものをお答えください。

【一つに○】

1 白熱電球	2 蛍光灯	3 LED
4 その他（具体的に：	5 種類不明の照明	

問 15 問 14 でお答えいただいた居間の照明について、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

※居間で複数の種類を使用している場合は、問 14-2 でお答えいただいた照明についてお答えください。

【一つに○】

1 2 時間未満	2 2 時間～4 時間未満	3 4 時間～6 時間未満
4 6 時間～8 時間未満	5 8 時間～12 時間未満	6 12 時間以上

問 16 お宅での照明に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※1箇所でも実施していれば「実施している」とお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施して いる	実施して いない	調整でき ない
状況に応じて照明の明るさを調整している（減灯や自動調光機能の利用を含む）	1	2	3
短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている	1	2	



問 18 お宅の浴室の今夏(8月頃)1週間の平均的な使用状況をお答えください。

※合計で7日となるようにしてください。

【それぞれ数値を記入】

浴槽に湯をはる日数(追い焚きを含む)	1週間に	日
浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数	1週間に	日
浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数	1週間に	日
		合計 7 日

Ⅲ. お宅でのコンロの使用や調理の状況についてお伺いします。

問 19 お宅の台所で使用しているコンロの種類をお答えください。

※カセットコンロは除きます。

【あてはまるものすべてに○】

1	ガスコンロ(カセットコンロを除く)	
2	電気コンロ(IH クッキングヒーターなど)(注)	
3	その他(具体的に:	)
4	コンロはない	→ 問 22 へお進みください

(注)卓上タイプについては、ふだん台所での調理に使用するものは含めてください。食卓のみで使用するものは除きます。

問 20 お宅ではふだん、コンロを使って何人分の食事を用意していますか。

※朝食と一緒に弁当を作る場合は「朝」、夜に作り置きをする場合は「夜」、等、食事を作る時間に合わせてご回答ください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【それぞれ数値を記入】

		朝	昼	夜
平 日	1 日あたり (平均)	人分	人分	人分
休 日	1 日あたり (平均)	人分	人分	人分

作らない場合は 0 と記入

問 21 お宅での調理に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※当該製品を保有していない、使用していない場合は「該当しない」とお答えください。

【一つに〇】

	実施している	実施していない	該当しない
調理を行うときは、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている	1	2	3
ガスコンロを使うときは、炎が鍋底からはみ出さないように調節している	1	2	3

IV. お宅での車両の使用状況についてお伺いします。

問 22 お宅での自動車、オートバイ・スクーター（二輪車）の使用有無をお答えください。使用している車両に関しては台数もお答えください。

※主に事業用に使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。

※世帯全体についてお答えください。

種類	使用 【一つに〇】		有の場合	使用台数 【数値を記入】
自動車	1 有	2 無	→	台
ガソリンを使用するオートバイ・スクーター (原動機付自転車を含む)	1 有	2 無	→	台

自動車を使用していない場合は、ここで終了です。
自動車を使用している場合は、次ページの問 23、問 24 もお答えください。

問 23 自動車の種類、排気量、実際の燃費、使用頻度、およびその年間の走行距離をお答えください。

※排気量については車検証などをご確認ください。

※世帯全体で複数台ご使用の場合は、走行距離の多い順に 1 台目からご回答ください。

		1台目	2台目	3台目
		(注) 縦方向 ↓ にお答えください。		
種類 【一つに○】	ガソリン車 (ハイブリッド含む)	1	1	1
	ディーゼル(軽油)車 (ハイブリッド含む)	2	2	2
	電気自動車	3	3	3
	プラグインハイブリッド車(注)	4	4	4
	その他 (LPG車、燃料電池車等)	5	5	5
排気量 【一つに○】	660cc以下(軽自動車)	1	1	1
	661～1000cc	2	2	2
	1001～1500cc	3	3	3
	1501～2000cc	4	4	4
	2001～3000cc	5	5	5
	3001cc以上	6	6	6
実際の燃費 【一つに○】	1Lあたり8km未満	1	1	1
	1Lあたり8～12km	2	2	2
	1Lあたり12～16km	3	3	3
	1Lあたり16～20km	4	4	4
	1Lあたり20km以上	5	5	5
	わからない	6	6	6
使用頻度 【一つに○】	毎日	1	1	1
	週5～6日	2	2	2
	週3～4日	3	3	3
	週1～2日	4	4	4
	週1日未満	5	5	5
年間の走行距離 【数値を記入】		1年間に 万 千 百 □□□ 00 km	1年間に 万 千 百 □□□ 00 km	1年間に 万 千 百 □□□ 00 km

(注) 家庭用電源等から充電できるハイブリッド車のことを言います。

問 24 お宅での自動車に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

【一つに○】

	実施している	実施していない
自動車をゆっくり加速させるなど、燃費の良い運転を心がけている	1	2

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(4) 冬季調査票 <2 月末時点>

				—		
--	--	--	--	---	--	--



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



一般統計調査

環境省

家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査

冬季調査票

<令和 5 年 2 月末時点>

I. お宅での暖房の状況についてお伺いします。

問 1 この冬の暖房の仕方について、最も近いものをお答えください。

【一つに○】

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 24 時間暖房する | 2 在室時は暖房する |
| 3 寒いと感じた時のみ暖房する | 4 ほとんど暖房しない・まったく暖房しない |

問 2 お宅では、セントラル暖房システムを使用していますか。

※セントラル暖房システムは、集中熱源機（ボイラ等）から供給される熱で、複数の部屋を暖房するシステムを指します。

※マルチエアコンを除きます（マルチエアコンを使用している場合は、問 4 でエアコンとしてお答えください）。

【一つに○】

1 使用している	2 使用していない
----------	-----------

→ 問 3 へお進みください

問 2-2 をお答えのうえ、問 3 へお進みください

問 2-2 セントラル暖房システムの種類をお答えください。

【一つに○】

- | | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 1 電気温水ボイラ | 2 ガス温水ボイラ | 3 灯油温水ボイラ |
| 4 ダクト式セントラル空調 | | |

問 3 お宅では、以下の床暖房を使用していますか。

【あてはまるものすべてに○】

- | | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 1 電気床暖房 | 2 ガス温水床暖房 | 3 灯油温水床暖房 |
| 4 床暖房を使用していない | | |

問 4 以下の暖房機器の使用有無をお答えください。使用している機器に関しては使用台数もお答えください。

エネルギー源	機器分類	使用 【一つに〇】		有の場合	使用台数 【数値を記入】
電気	エアコン (暖房に使用するもの) (注 1)	1 有	2 無	→	台
	電気ストーブ類 (ストーブ、パネルヒーター、オイルヒーターなど)	1 有	2 無	→	台
	電気カーペット・こたつ	1 有	2 無	→	台
	電気蓄熱暖房器(注 2)	1 有	2 無	→	台
ガス	ガスのストーブ類 (ファンヒーター、FF 式ストーブなど)	1 有	2 無	→	台
灯油	灯油ストーブ類 (ファンヒーター、FF 式ストーブなど)	1 有	2 無	→	台
木質系	木質系燃料を使用するストーブ類 (まきストーブ、ペレットストーブなど)	1 有	2 無	→	台

(注 1) マルチエアコン(室外機 1 台に対して室内機が複数台あるエアコン)については室内機の使用台数をお答えください。
(注 2) 電気蓄熱暖房器は、夜間時間帯に電力を通电して本体内部の蓄熱材(蓄熱レンガ)に熱エネルギーとして蓄え、暖房に利用する暖房機器を指します。

問 5 お宅では、太陽熱利用暖房システムを使用していますか。

※太陽光発電とは異なるものです。

【一つに〇】

1 使用している	2 使用していない
----------	-----------

問 6 お宅で、今冬(1~2 月)に最もよく使う暖房機器をお答えください。

【一つに〇】

1 エアコン(電気)を最もよく使う
2 電気ストーブ類を最もよく使う(ストーブ、パネルヒーター、オイルヒーターなど)
3 電気カーペット・こたつを最もよく使う
4 電気蓄熱暖房器を最もよく使う
5 ガスのストーブ類を最もよく使う(ファンヒーター、FF 式ストーブなど)
6 灯油ストーブ類を最もよく使う(ファンヒーター、FF 式ストーブなど)
7 木質系燃料を使用するストーブ類を最もよく使う(まきストーブ、ペレットストーブなど)
8 電気床暖房を最もよく使う
9 ガス温水床暖房を最もよく使う
10 灯油温水床暖房を最もよく使う
11 セントラル暖房システムを最もよく使う
12 太陽熱利用暖房システムを最もよく使う
13 その他(具体的に:)
14 暖房機器はない → 問 9 へお進みください

問 6-2 問 6 でお答えになった暖房機器の温度設定について、あてはまるものをお答えください。

※温度設定をよく変更する場合は、平均的な状況をお答えください。

【一つに○】

1	温度を設定している	→温度	°C										
2	強弱を設定している	→5段階で近い設定をお答えください	<table border="1"> <tr> <td>強</td> <td>←</td> <td>中</td> <td>→</td> <td>弱</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table>	強	←	中	→	弱	1	2	3	4	5
強	←	中	→	弱									
1	2	3	4	5									
3	設定できない												
4	わからない												

問 6-3 問 6 でお答えになった暖房機器について、寒い時期（1～2月）の、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

1	2時間未満	2	2時間～4時間未満	3	4時間～8時間未満
4	8時間～12時間未満	5	12時間～16時間未満	6	16時間～24時間未満
7	24時間（一日中）				

問 7 お宅の、ふだん暖房する居室数をお答えください。

※食事室兼台所（ダイニング・キッチン）、居室兼食事室兼台所（リビング・ダイニング・キッチン）は居室に含めます。同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している室も含めます。（例：3LDK⇒居室数4室、2DK⇒居室数3室）

※食事室のない台所（キッチン）は居室に含めません。（例：1K⇒居室数1室）

【数値を記入】

ふだん暖房する居室数	室	4月調査で回答頂いた お住まいの居室数は	室でした。
------------	------------------------	-------------------------	----------------------------

問 8 お宅での、ペットのための暖房の使用についてお答えください。

【一つに○】

1	ペットのために暖房する	2	ペットのために暖房はしない	3	ペットはいない
---	-------------	---	---------------	---	---------

Ⅱ. お宅での冬季の給湯の状況についてお伺いします。

問 9 お宅の浴室の今冬（1～2月）の1週間の平均的な使用状況をお答えください。

※合計で7日となるようにしてください。

【それぞれ数値を記入】

浴槽に湯をはる日数（追い焚きを含む）	1週間に	日
浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数	1週間に	日
浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数	1週間に	日
		合計 7 日

問 10 お宅での入浴やお湯の使用に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※お住まいの方全員の平均的な実施状況をお答えください。

※シャワーがない、など該当する設備または機能がない場合は「該当しない」とお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施して いる	実施して いない	該当しな い
シャワーを使うときは、不必要に流したままにしない	1	2	3
家族が続けて入浴するようにしている (注)	1	2	3
食器を手洗いするときは、お湯を流したままにしない	1	2	3
給湯器を使用しないときは、コントローラー (リモコン) の電源を切るようにしている	1	2	3

(注) 単身世帯の方は「該当しない」とお答えください。

問 11 お宅での今冬 (1～2 月) の洗面時のお湯の使い方をお答えください。

※洗面所でお湯を使う状況についてお答えください。

※単身世帯の方は「1 全員使う」または「3 使わない」のいずれかでお答えください。

【一つに○】

1 全員使う	2 使う人がいる	3 使わない
--------	----------	--------

問 12 お宅での今冬 (1～2 月) の台所のお湯の使い方をお答えください。

※コンロでお湯を沸して利用する場合を除きます。

※食器洗い機で使用するお湯が給湯器から供給される場合を含みます。

【一つに○】

1 毎日使う	2 週 5～6 日使う	3 週 3～4 日使う
4 週 1～2 日使う	5 ほとんど使わない・まったく使わない	

Ⅲ. その他

問 13 あなたのお宅で使用している融雪機器の種類をお答えください。

※お宅だけで光熱費を支払っているものについてお答えください。集合住宅等で共用されるものを除きます。

※融雪機器とは、エネルギーを用いて雪を溶かし機械的に除雪を行う装置のことを言います。

【あてはまるものすべてに○】

1 電気式の融雪機器 (ロードヒーティングなど)	2 ガスを使用する融雪機器
3 灯油を使用する融雪機器	4 いずれも使用していない

問 14 世帯年収をお答えください。

※収入がある方全員の年収 (税込) の合計をお答えください。

【一つに○】

1 250 万円未満	2 250～500 万円未満	3 500～750 万円未満
4 750～1000 万円未満	5 1000～1500 万円未満	6 1500～2000 万円未満
7 2000 万円以上		

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

回答の手引き

～調査にご協力いただくみなさまへ～

令和 4 年度「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」

回答の手引き

令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月（毎月のご回答編）

令和 5 年 3 月分のご回答が済むまでお手元で保管ください。

目次

1. 「家庭部門の CO ₂ 排出実態統計調査」について	1
2. 調査へのご回答方法について	2
3. 回答に際しご用意いただくもの	4
4. 調査ご協力スケジュール	6
5. 調査内容の手引き	9
※電気とガスを同一の会社で契約しているご世帯様は 19 頁をご参照ください。	
6. 5 月度分以降「問 1」ご回答についての注意点	21
★調査に関するお問合せメールのご利用方法	22

インターネットからでもご回答できます

＜スマートフォンやタブレットも使用可＞

回答画面へのログインはこちらから

<https://sv.netr.jp/toukei2022/>

● 本書 2 頁以降も併せてごらんください。



1. 「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」について

● 調査目的

「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」は、環境省 地球環境局 総務課 脱炭素社会移行推進室が実施している一般統計調査です。調査の結果は、地球温暖化対策のための効果的な温室効果ガス削減対策の推進や施策の立案、削減計画の策定などのための基礎資料として利用されます。

● 調査の対象と選定方法

統計上の抽出方法に基づき、住民基本台帳から無作為に選定された、全国 6,500 世帯（店舗併用住宅を除く世帯）を対象としています。

（その他、インターネットモニター6,500 世帯を含め、全国 13,000 世帯を対象に実施する統計調査です。）

● 調査の方法と内容

「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」は、民間調査機関（株式会社インテージリサーチ）に委任して実施しています。調査票は、毎月のエネルギー使用量を主としてご記入いただくものが 12 か月分と、夏季調査票（令和 4 年 8 月末ご記入）、冬季調査票（令和 5 年 2 月末ご記入）とに分かれています。また、ご協力開始後の令和 4 年 5 月、9 月、令和 5 年 3 月には調査員が訪問いたします。お伺いした際には些細ではございますが、ご協力の謝礼をお渡しいたします。

● 調査の法的根拠

「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」は、統計法第 19 条に基づき総務大臣の承認を得た一般統計調査として実施します。

● 秘密の保護

調査員を始めとする本調査に携わる者が、調査票の記入内容を他に漏らすことは、統計法で禁じられています。また、提出された調査票は、厳重に保管され、統計を作成した後、溶解処分されます。

● 結果の公表

「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」の結果は、環境省ホームページに掲載されます。

（関連調査 URL）<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html>

調査に関するお問い合わせ先

(株)インテージリサーチ「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」事務局

☎ 0120-305-105（平日 9:30～17:30）

メールでのお問合せはこちらから

<https://survey.intage-research.co.jp/m/co2m-entry>

● 本書最終頁の操作手順を参照ください。



2. 調査へのご回答方法について

本調査にご協力いただく皆様には、調査員よりお渡しする調査票にご記入いただく方法と、各世帯様専用の ID・パスワードを用いたインターネットによりご回答いただく方法がありますので、どちらでもご回答しやすい方をご選択ください。

★インターネットを利用されご回答いただく際のアクセス手順★

ログイン画面の入力

＜ログイン画面は令和 4 年 4 月 1 日からご利用が可能となります＞

回答画面へのログインはこちらから



※ スマートフォンやタブレットも使用可能です。

※ QR コードをご使用いただくと、本頁下段の画面に移行します。

【インターネットでご回答いただく際のアクセス手順】



「Google」や「Yahoo!」等のトップ画面

<https://sv.netr.jp/toukei2022/>

検索画面に直接 URL を入力される場合は↓こちらです。

<https://sv.netr.jp/toukei2022/>

Enter ボタンをクリック

「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」トップ画面が開きます

＜下段の画面です＞ ※QR コードからのログイン時も以下画面が表示されます。



「はじめにお読みください」を確認された後に、次のページボタンをクリックしてください。

① 「はじめにお読みください」をクリック

② 「次のページ」をクリック

3. 回答に際しご用意いただくもの

本調査は、ご家庭内での毎月のエネルギー使用量や使用料金についてご回答いただく調査です。また、その他のエネルギー消費に関係する機器や設備の使用状況、世帯構成や住宅の構造などについてお伺いします。

毎月の調査票で回答をお願いする内容	ご用意いただくもの
電気の使用状況	電気の検針票（使用量・使用料金がわかるもの）
ガスの契約有無と使用状況	ガスの検針票（使用量・使用料金がわかるもの）
太陽光発電の使用有無と使用状況	- 検針票（購入電力量のお知らせ通知など） - 表示モニター
灯油／ガソリン／軽油の使用有無と使用状況	世帯全体分の購入レシート

※ 一部の事業社では「使用量のお知らせ（検針票）」を紙のお届けから Web 上でのご確認に変更されている場合がございます。ただし申し込みをおこなえば、無料で明細を契約者のお手元に郵送するサービスを実施している事業者もございますので、詳細につきましては各契約事業社へお尋ねしてみてください。

電気・ガスの使用量や料金をインターネット上で閲覧できるサービスをご紹介します

過去に遡り、電気や都市ガスの使用量・使用料金をご契約されている企業のホームページにて閲覧できるサービスを実施している場合があります。企業の一例をご紹介しますので、調査ご回答時にはぜひご活用ください。

電力取扱い企業の Web 閲覧サービスの一例

※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可



（令和 3 年 12 月現在の情報）

企業名	サービス名	サービス URL
北海道電力	Web 料金 お知らせサービス	http://www.hepco.co.jp/home/price/price_info/index.html
東北電力	よりそう e なっと	https://www3.zf1.tohoku-epco.co.jp/
北陸電力	ほくリンク	https://mieruka.rikuden.co.jp/OI008_DOC/contents/login/
東京電力	くらし TEPCO	https://www.kurashi.tepco.co.jp/
中部電力	カテエネ	https://katene.chuden.jp/
関西電力	はぴ e みる電	https://kepc.co.jp/miruden/
四国電力	よんでんコンシェルジュ	http://www.yonden.co.jp/y-con/
中国電力	ぐっとずっと。WEB	http://www.energia-support.com/
九州電力	キレイライフプラス	https://www.kireilife.net/
沖縄電力	電気ご使用 実績照会サービス	https://www.okiden.co.jp/service/result/

企業名	サービス名	サービス URL
東京ガス	my TOKYO GAS	https://members.tokyo-gas.co.jp/
大阪ガス	マイ大阪ガス	https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html
KDDI	au でんき	https://www.au.com/electricity/
ソフトバンクでんき	おうちでんき	https://www.softbank.jp/energy/
ENEOS	ENEOS でんき	http://www.eneos.co.jp/denki-kyotsu/
	でんきサービス	https://mydenki.jp/private
J:COM 電力	エコレポ	https://www.jcom.co.jp/service/electricity/ecorepo_home/
楽天エナジー	楽天でんき	https://energy.rakuten.co.jp/electricity/
ミツウロコヴェッセル	ミツウロコでんき	https://mitsuurokodenki.jp/
MC リテールエナジー	まちエネ（ローソン）	https://www.machi-ene.jp/
HTB エナジー（H.I.S）	HIS でんき	https://htb-energy.co.jp/
昭和シェル石油	昭和シェルの選べる電気	https://s-denki.com/

都市ガス会社の Web 閲覧サービスの一例

※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可



（令和 3 年 12 月現在の情報）

企業名	サービス名	サービス URL
北海道ガス	Tag Tag	https://tagtag.hokkaido-gas.co.jp/portal/Mypage/top
東京ガス	my TOKYO GAS	https://members.tokyo-gas.co.jp/
京葉ガス	ウイズ京葉ガス	https://with.keiyogas.co.jp/login
中部ガス	マイサーラ	https://www.mysala.jp/towngas
東邦ガス	Club TOHO GAS	https://members.tohogas.co.jp/
大阪ガス	マイ大阪ガス	https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html
西部ガス	西部ガスマイページ	http://www.saibugas.co.jp/home/
日本瓦斯（ニチガス）	My NICIGAS	https://www.nichigas.co.jp/mynicigas/

4. 調査ご協カスケジュール

毎月の調査につきましては、以下のスケジュールで運用いたします。また、担当いたします調査員の訪問月を記載していますので、ご確認ください。（インターネットでご回答される世帯様へも、調査員が定期的に訪問いたします。）

※ 非常災害など緊急事態の発生時は、止むを得ず調査員の訪問スケジュールを変更させていただく場合がございます。
その際は、該当する地域でご協力いただいております世帯様へ個別にご対応させていただきます。

（令和4年4月調査～令和5年3月調査までの12か月間となります）

	ご回答いただく 調査票	ご協力いただく内容
令和4年 4月 ご回答の 開始月です	令和4年 4月分	【調査票へご記入の方】  ・ 4月票のご記入が済みでしたら 5月に調査員が回収に伺うまでお手元で保管ください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 4月1日よりご回答可能です。
令和4年 5月 調査員 訪問月  引き続き調査継続協力 のお礼として謝礼をご持 参いたします。	令和4年 5月分	<u>【令和4年5月1日～15日までの期間に調査員が訪問いたします。】</u> 【調査票へご記入の方】  ・ ご記入済みの 4月票 は調査員にお渡しください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 4月分のご回答を済ませましたら 5月15日までにご送信ください。 【全員の方へ】 調査員よりお受け取りください。  令和4年6月～9月ご記入分までの毎月の調査票と夏季調査票および 令和4年5月票～7月票の返送用封筒（3枚）をお受け取りください。
令和4年 6月 7月	令和4年 6月分 ・ 令和4年 7月分	【調査票へご記入の方】   ・ 5月票のご記入を済ませましたら 6月15日までにご投函ください。 ・ 6月票のご記入を済ませましたら 7月15日までにご投函ください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 5月分のご回答を済ませましたら 6月15日までにご送信ください。 ・ 6月分のご回答を済ませましたら 7月15日までにご送信ください。

	ご回答いただく 調査票	ご協力いただく内容
令和 4 年 8 月	令和 4 年 8 月分 夏季調査票	【調査票へご記入の方】  ・ 7 月票のご記入を済ませましたら 8 月 15 日までにご投函ください。 ・ 8 月票および夏季調査票のご記入が済みましたら 9 月に調査員が回収に伺うまでお手元で保管ください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 7 月分のご回答を済ませましたら 8 月 15 日までにご送信ください。
令和 4 年 9 月 調査員 訪問月  引き続き調査継続協力のお礼として謝礼をご持参いたします。	令和 4 年 9 月分	<u>【令和 4 年 9 月 1 日～15 日までの期間に調査員が訪問いたします。】</u> 【調査票へご記入の方】  ・ ご記入済みの 8 月票と夏季調査票 は調査員にお渡しください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 8 月分のご回答を済ませましたら 9 月 15 日までにご送信ください。 ・ 夏季調査票のご回答を済ませましたら 9 月 15 日までにご送信ください。 【全員の方へ】  調査員よりお受け取りください。 令和 4 年 10 月～令和 5 年 3 月ご記入分までの毎月の調査票と 冬季調査票および令和 4 年 9 月票～令和 5 年 1 月票の返送用封筒 (5 枚) をお受け取りください。
令和 4 年 10 月 11 月 12 月 令和 5 年 1 月	令和 4 年 10 月分 ・ 令和 4 年 11 月分 ・ 令和 4 年 12 月分 ・ 令和 5 年 1 月分	【調査票へご記入の方】  ・ 9 月票のご記入を済ませましたら 10 月 15 日までにご投函ください。 ・ 10 月票のご記入を済ませましたら 11 月 15 日までにご投函ください。 ・ 11 月票のご記入を済ませましたら 12 月 15 日までにご投函ください。 ・ 12 月票のご記入を済ませましたら 令和 5 年 1 月 15 日までにご投函ください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 9 月分のご回答を済ませましたら 10 月 15 日までにご送信ください。 ・ 10 月分のご回答を済ませましたら 11 月 15 日までにご送信ください。 ・ 11 月分のご回答を済ませましたら 12 月 15 日までにご送信ください。 ・ 12 月分のご回答を済ませましたら 令和 5 年 1 月 15 日までにご送信ください。

	ご回答いただく 調査票	ご協力いただく内容
令和 5 年 2 月	令和 5 年 2 月分 冬季調査票	【調査票へご記入の方】  ・ 令和 5 年 1 月票のご記入を済ませましたら 2 月 15 日までにご投函ください。 ・ 2 月票および冬季調査票のご記入が済みでしたら 3 月に調査員が回収に伺うまでお手元で保管ください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 令和 5 年 1 月分のご回答を済ませましたら 2 月 15 日までにご送信ください。
令和 5 年 3 月 調査員 訪問月  長期に渡り調査にご協力 いただいたお礼として謝礼をご 持参いたします。	令和 5 年 3 月分	<u>【令和 5 年 3 月 1 日～15 日までの期間に調査員が訪問いたします。】</u> 【調査票へご記入の方】  ・ ご記入済みの 2 月票と冬季調査票 は調査員にお渡しください。 ・ 令和 5 年 3 月票の返送用封筒をお受け取りください。 【インターネットでご回答される方】  ・ 2 月分のご回答を済ませましたら 3 月 15 日までにご送信ください。 ・ 冬季調査票のご回答を済ませましたら 3 月 15 日までにご送信ください。 【全員の方へ】  調査員へお渡しください。 不要になった「回答の手引き」や、インターネットでご回答いただいて、不要となった調査票は、調査員が訪問した際に回収いたしますので、ご準備ください。
令和 5 年 4 月		【調査票へご記入の方】  ・ 3 月票のご記入を済ませましたら 4 月 15 日までにご投函ください。 ・ ご投函漏れの調査票が残っていないかご確認をお願いします。 【インターネットでご回答される方】  ・ 3 月分のご回答を済ませましたら 4 月 15 日までにご送信ください。 ・ ご回答漏れの月や夏季調査票、冬季調査票のご送信がすべて完了しているか、トップ画面にて今一度ご確認をお願いします。
15 日を過ぎてしまった場合でも、ご投函漏れの調査票やインターネットの入力は受け付けておりますので、最終月分までのご協力を、何卒よろしくお願いいたします。		

5.調査内容の手引き

1	2	3	4	—	5	6
---	---	---	---	---	---	---



政府統計



一般統計調査

環境省

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

ご回答時にお手持ちの調査票と併せてご参照ください

4月

家庭部門のCO₂排出実態統計調査

電気ご使用量やガスご使用量の検針月日欄に「4月〇日」と印字のある検針票や、「4月分ご請求額」と記載のある請求書が4月分調査票のご回答対象となります。(以降の月も同様です)

※ 検針票や請求書に上記記載がない場合は、「使用期間」の最終日にあたる月を、ご回答の対象月としてください。

I. 4月末時点の世帯の状況

問1 4月末時点で、あなた

※単身赴任や下宿等で、ふだんお宅に同居していない方は除きます。

【数値を記入】

3人

4月末の記入時点で、ふだん一緒に住まわれている方の合計人数を教えてください。(あなたも含めてください)

- ・週に1,2回程度の外泊をされている方がいらっしゃる場合は、**合計人数に含めてください。**
- ・ご回答時点では同居しているが、**今後転居や赴任が決まっている方がいらっしゃる場合でも、合計人数に含めてください。**

×長期入院や長期留学など、ご回答時点ですでに3か月以上留守されている方の人数は含めないでください。(4月末時点で3か月未満の留守については合計人数に含めます)

問2 問1でお答え

※1人目は世帯主についてお答えください。(世帯主が同居していない場合は除く)

※続柄については世帯主からみでの続柄をお答えください。

問1で回答された人数全員について、問2へご回答ください。(例…問1=3名、問2=3人目まで回答)

※二世帯住宅の場合は、電気の契約者を世帯主としてお答えください。

※横1列内に、続柄→年齢→就業状態の順でひとりずつお答えください。

	世帯主からみた続柄							年齢										就業状態		
	【一つに○】							【一つに○】										【一つに○】		
	世帯主	世帯主の子	子・子の親	親	祖父母	孫	その他	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	在宅勤務あり	在宅勤務なし	就業者でない	
横1列におひとりずつご回答ください。																				
例 1人目	①	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9				
2人目		②	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1人目	①	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	①	2	3	
2人目		②	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	1	2	③	

問1でご記入いただいた人数分のご回答をお願いします。

※1人目は世帯主についてご回答ください。

(ただし問1の人数に世帯主を含めていない場合は、家計を担っている方から順番にご回答ください。)

<続柄について>

※2人目以降は、「世帯主からみた続柄」で当てはまる番号に○をつけてください。(世帯主が単身赴任中などで、問1の合計人数に含んでいない場合にも、**実際の世帯主からみた続柄をご回答ください。**)

※「親」「祖父母」「他の親族」は血縁関係にかかわらず、「義父母、義祖父母、義親族」までを含みます。

<就業について>

※就業されている世帯員様は、「在宅勤務の有無」について、**あてはまる方に○**をお答えください。

・在宅勤務とは、自宅を就業場所として働く勤務形態のことをいいます。自宅以外での場所での就業は除いてください。

※学生のアルバイトは「3就業者でない」に○をつけてください。(学生以外の方で就業されている場合は、働き方に関係なく「就業者1もしくは2」のあてはまる方に○をつけてください。)

問3 問2でお答えください。

※在宅勤務と

1週間の平均的な在宅勤務日数が整数とならない場合は切り上げていただき、整数の日にちでご回答ください。例) 1週間のうちの在宅勤務日平均が3.5日の場合 → 4日

平均的な在宅勤務日数 【数値を記入】	1週間のうち 3 日						
1日の平均的な在宅勤務時間 【一つに○】	<table border="0"> <tr> <td>1 4時間未満</td> <td>2 4時間～6時間未満</td> </tr> <tr> <td>3 6時間～8時間未満</td> <td>4 8時間～10時間未満</td> </tr> <tr> <td>5 10時間以上</td> <td></td> </tr> </table>	1 4時間未満	2 4時間～6時間未満	3 6時間～8時間未満	4 8時間～10時間未満	5 10時間以上	
1 4時間未満	2 4時間～6時間未満						
3 6時間～8時間未満	4 8時間～10時間未満						
5 10時間以上							

「問2」の回答で、「1人目」(世帯主または家計を担っている方)にお答えいただいた内容で、就業状態の回答が、「就業者(在宅勤務あり) 1」に○がついた場合は、4月末時点での平均的な在宅勤務内容についても併せてご回答ください。

問4 お宅では、ふだん平日の昼間に在宅者がいますか。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

1 ほぼ毎日いる 3 週 1～2 日いる	2 週 3～4 日いる 3 週 5～6 日いる 4 週 7～8 日いる 5 ほぼ毎日いる
--------------------------------	---

世帯で家計を支える方の就労日を平日とお考えください。また、就業者がいらっしゃらない世帯では暦通りにお考えください。

Ⅱ. 4月末時点のお住まいの状況についてお伺いします。

問5 お住まいの建て方をお答えください
※隣世帯と壁を共有して建てられた長屋等

外見が戸建でも、各部屋が壁で仕切られ、複数世帯が住まわれている建物は、「2集合住宅」とご回答ください。

【一つに○】

1 戸建住宅	2 集合住宅(マンション、アパート、長屋、テラスハウス)
--------	-------------------------------------

問6 お住まいの構造をお答えください
※木造と木造以外を組み合わせた構造は、

木造と鉄筋コンクリートや鉄骨などを組み合わせた構造の場合は、「2木造以外」とご回答ください。

【一つに○】

1 木造	2 木造以外(鉄筋コンクリート造、鉄骨造など)
------	--------------------------------

問7 お住まいの建築時期をお答えください。

【一つに○】

1 1970(昭和45)年以前	2 1971～1980(昭和46～55)年
3 1981～1990(昭和56～平成2)年	4 1991～2000(平成3～12)年
5 2001～2005(平成13～17)年	6 2006～2010(平成18～22)年
7 2011～2015(平成23～27)年	8 2016～2020(平成28～令和2)年
9 2021(令和3)年以降	10 わからない

賃貸の場合は、「契約書」に建築年が記載されています。ご参考にしてください。

問 8 お住まいの所有関係をお答えください。

【一つに〇】

- 1 持ち家・分譲（住宅、マンション）
- ☒ 2 民営の賃貸住宅
- 3 公営（都道府県・市区町村営）、公社または都市再生機構（UR）の賃貸住宅
- 4 給与住宅（社宅、公務員住宅など）

問 9 お住まいの延床面積をお答えください。

※延床面積とは、建物の各階の床面積の合計です。敷地
※アパート・マンションなどの集合住宅の場合は、専有
※延床面積の単位は㎡（平方メートル）、あるいは坪数でお答えください。

・賃貸の場合は、「契約書」に床面積が記載されていることが多いです。ご参考にしてください。
・延床面積または坪数のどちらかをご回答ください。

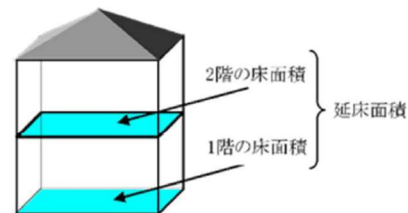
【数値を記入】

52.8 ㎡

あるいは

16 坪

※1 坪は約 3.3 ㎡です。



問 10 お住まいの居室数をお答えください。

※食事室兼台所（ダイニング・キッチン）、居室兼食事室兼台所（リビング・ダイニング・キッチン）は居室に含めます。同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している室も含めます。（例：3LDK⇒居室数 4 室、2DK⇒居室数 3 室）

※食事室のない台所（キッチン）は居室に含めません。（例：1K⇒居室数 1 室）

【数値を記入】

3 室

ダイニングキッチンやリビング・ダイニング・キッチンが 1 居室として数えてください。
例：3LDK⇒居室数 4 室、2DK⇒居室数 3 室



※色のついた部屋が居室となります。
※上図の場合、居室数は「3 室」となります。

問 11 お住まいには、二重サッシまたは複層ガラスの窓はありますか。

【一つに〇】

- 1 すべての窓にある
- ☒ 2 一部の窓にある
- 3 ない
- 4 わからない

複層ガラスとは・・・複数の板ガラスの間を密封した、断熱・遮音に効果的な窓ガラス。ペア・ガラスとも言われています。

Ⅲ. 機器・設備についてお伺いします。

問 12 お宅での家庭用エネルギー管理システム（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）の導入状況についてお答えください。

HEMSとは・・・エネルギー使用状況を専用の画面やパソコン、スマートフォンなどに表示することなどにより、家庭における省エネルギーを支援するシステムのことを言います。家電機器などの最適運転を行う機能をもつものもあります。

【一つに〇】

- 1 導入している
- ☒ 2 導入していない
- 3 わからない

問 13 お宅での家庭用蓄電システムの使用状況についてお答えください。

家庭用蓄電システムとは…

電力会社から購入する電気や太陽電池等で発電された電気を充電して、必要な時に家庭内の電気機器に電気を供給するシステムです。V2H（自動車に蓄えた電気を家庭内に供給して使うシステム）を含みます。

※アパート・マンションなどの集合住宅の場合、共用部などに設置されているものは含みません。

【一つに○】

- 1 使用している 2 使用していない 3 わからない

問 14 お宅では、家庭用燃料電池（エネファーム）、ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）、ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）を使用していますか。

【一つに○】

- 1 家庭用燃料電池（エネファーム） 2 ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）
3 ガスエンジン発電・暖房器（コレモ） 4 いずれも使用していない

問 15 へお進みください

問 14-2 問 14 でお答えの設備について、余った電気を売却（売電）する契約をしていますか。

※太陽光発電による売電とは異なります。

【一つに○】

- 1 している 2 していない

1.エネファーム、2.エコウィル、3.コレモ、のいずれかに○がついた方は、売却（売電）の契約についてもお答えください。

Ⅳ. エネルギーの使用状況についてお伺いします。

電気ご使用量の検針月日欄に「4月〇日」と印字のある検針票や、「電力振込用紙」または「電気ご使用量のお知らせ」、「4月分ご請求額」と記載のある請求書が4月分となります。（以降の月も同様です）

※検針票や請求書に上記のような記載がない場合は、「使用期限」の最終日にあたる月をご回答の対象月としてください。

※同一の会社で電気とガスをまとめて契約されている場合はP19「ご回答月注意点」も併せて参照ください。

問 15 4 月分の電気の使用状況をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4月分」と記載されている検針票

住居とは別棟で契約されている「農事用電力」や「店舗用」などは含みません。
（住居部分のみについてご回答ください）

	電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】	使用期間 【数値を記入】	
	※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。			
電気	千 百 十 一 [][][][] kWh	万 千 百 十 一 [][][][] 円	月 日から	月 日まで

(注 1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

電気：例 1（従来の電力会社（検針）払込票）

(B)電気料金等払込金受入票 (振込)

口座番号 00150-9-167 加入者名 東京電力エナジーパートナー株式会社

地区番号 年月分 金 額

3-9 ￥8216

お客様番号

お問い合わせ先 カスタマーセンター 0120-995-662(代)

料 金 日 附 印

（銀行保管または、コンビニエンス・ストア店舗控え）

(A)電気料金等郵便振替払込金受領証(領収証)

口座番号 00150-9-167 加入者名 東京電力エナジーパートナー株式会社

年月分 払 込 金 額

3-9 ￥8216

ご契約 戸 数 使用量 kWh コード

30 A 299

ご使用期間 8月19日～ 9月16日

ご使用 契約 約 名 所 義

お支払人氏名

お 支 払 期 限 日 10月 18日

上記お支払期限日を過ぎた場合のお支払いは、コンビニエンス・ストアをお願いいたします。

地区番号 契約 種 別 従量電灯 B

お客様番号

お問い合わせ先 カスタマーセンター 0120-995-662(代)

東京電力エナジーパートナー株式会社 (お客様控え)

● 調査票への回答内容（例 1 の場合、ご回答いただく調査票は「9月分」です）

	電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】	使用期間 【数値を記入】	
	※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。			
電気	千 百 十 一 [2][9][9] kWh	万 千 百 十 一 [8][2][1][6] 円	8月18日から	9月16日まで

(注 1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発

請求額は税込のままご回答ください。

電気料金に含めないでください。

電気：例2（郵送で届く月別の電気使用量と料金内訳）

電気使用量のお知らせ

調査票記入月 使用期間

令和 3 年 7 月 6 月 18 日 ~ 7 月 18 日 31 日

ご契約種別 従量電灯B ご契約 使用量

ご使用量 270 kWh

前請求予定金額 7,296円
(うち消費税等相当額) (663円)

基本料金 858円00銭
電力量料
・1段料 385円60銭
・2段料 972円00銭
燃料費調整額 -826円20銭
再エネ発電賦課金 907円00銭

電気料金 385円60銭

今届検針日 7月19日
計器取替日 月 日
振替予定日 月 日
お支払期限日 8月18日
本居検針予定日 8月19日

戸数 戸
力率 %
電圧調整設備 %
5時間通電 kVA
通電制御 kVA

領収金額 円
ご契約種別 円
ご使用量 kWh
店鋪コード 口座番号
ご使用 場所
お客さま番号

燃料費調整のお知らせ (1 kWhあたり)
7月(当月)分 -3円06銭
8月(翌月)分 -3円11銭
翌月分は当月分に比べ -0円05銭

当 月 指 示 数 2462.64
前 月 (取 付) 指 示 数 2192.76
差 引 269.88
計器乗率 (倍)
計器番号 (下3桁)
取替前計量値

昨年 7 月分は 29 日間で 322 kWh です。
今月分は昨年と比べ 1 日あたり 21% 減少しています。

電気・ガスのご使用状況をふまえ、契約内容をご確認ください。
ご質問や変更のご希望等がございましたら、カスタマーセンターまでご連絡ください。

東京電力エナジーパートナー株式会社

● 調査票への回答内容 (例2の場合、ご回答いただく調査票は「7月分」です)

電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】	使用期間 【数値を記入】
※電気の使用量が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。		
千 百 十 一 2 7 0 kWh	万 千 百 十 一 7 2 9 6 円	6月18日から 7月18日まで

(注1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

電気：例3（契約事業社のインターネット画面から確認できる月別電気使用量と料金明細）



● 調査票への回答内容（例3の場合、ご回答いただく調査票は「9月分」です）

	電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】	使用期間 【数値を記入】
	※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。		
電気	千 百 十 一 □ 2 7 0 kWh	万 千 百 十 一 □ 6 8 3 3 円	9月 1日から 9月30日まで

※ ご確認いただくのは、「1か月単位」の明細となります。

※ 「使用期間」は契約社により異なります。「〇月分」として表示されている画面および使用期間が表示されている画面でご確認下さい。

問 15-2 お宅が契約している電力会社をお答えください。

【一つに〇】

1 北海道電力	7 中国電力	「11その他」に〇をつけた場合は、契約されている「会社名」もしくはその呼称でご回答ください。 ※「契約プラン名称」ではありません。
2 東北電力	8 四国電力	
3 東京電力エナジーパートナー	9 九州電力	
4 北陸電力	10 沖縄電力	
5 中部電力	11 その他	
6 関西電力	(会社名： auでんき)	

問 16 4月の太陽光発電の使用の有無をお答えください。使用が有る場合は発電・売却（売電）の電力量、受領金額、太陽電池の総容量をお答えください。

太陽光発電がない時は、「2無」に○をつけてください。

太陽光発電

1 有
2 無

問 17 へお進みください

	電力量 【数値を記入】	受領金額 【数値を記入】
発電 (注1)		
売却 (売電) (注2)		

(注1) 表示モニターなど
売却 (売電) と
(注2) 「4月分」の検針

発電 = 表示モニターなどをご確認の上、ご回答ください。
売却 = 検針票またはモニターなどで（電力会社の）購入電力量をご回答ください。
受領金額 = 検針票またはモニターなどで（電力会社の）購入予定金額をご回答ください。

総容量（発電出力）が不明の場合は、購入時のカタログやパンフレットをご参照ください。

太陽電池の総容量 (注)

+	-	.		kW
---	---	---	--	----

(注) 太陽電池の総容量は、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで記入してください。

太陽光：例1（従来の電力会社払込票）

購入料金等のお知らせ		ご契約内容	
お客さま番号		ご契約名称	
受電地点特定番号		設備ID	
調査票記入月		発電出力	5.500 kW
購入期間	2021年10月21日 ～ 2021年11月21日	購入電力量	311 kWh
購入金額	2,488 円	次回検針予定日	2021年12月21日
うち消費税等相当額	226 円	購入（売却）量	
購入（売却）金額			

毎度ありがとうございます。
○ 2021年11月分の購入料金等についてお知らせいたします。

● 調査票への回答内容（例1の場合、ご回答いただく調査票は「11月分」です）

	使用 【一つに○】	電力量 【数値を記入】	受領金額 【数値を記入】
太陽光発電	1 有	980 kWh	2488 円
	2 無	311 kWh	

(注1) 表示モニターなどをもとにご回答ください。
売却 (売電) と期間が整合しなくても構いません。
(注2) 「4月分」の検針票をもとにご回答ください。

発電量はモニターで確認
請求額は税込のままご回答ください。

太陽電池の総容量は、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までご回答ください。

太陽電池の総容量 (注)

+	-	.	5.5	kW
---	---	---	-----	----

太陽光：例2（契約事業者のインターネット画面から確認できる月別太陽光使用量と購入（売却）明細）

The screenshot shows a website interface for managing solar power contracts. The main section is titled '購入電力量' (Purchase Electricity Quantity) for '9月分' (September). It displays a date range from '令和3年10月 9月 6日~10月 5日(30日)'. The '調査票記入月' (Survey Form Entry Month) is indicated as '令和3年10月'. The '購入（売却）金額' (Purchase/Sale Amount) is shown as '5,115円' (5,115 yen) for '155kWh'. The '購入（売却）電力量' (Purchase/Sale Electricity Quantity) is also shown as '155kWh'. There are buttons for 'グラフで見る' (View Graph) and '印刷する' (Print).

● 調査票への回答内容（例2の場合、ご回答いただく調査票は「10月分」です）

	使用 【一つに○】	電力量 【数値を記入】	受領金額 【数値を記入】
太陽光発電	☒ 1 有 ☐ 2 無	発電 (注1) 千 百 十 一 3 2 6 kWh	売却 (売電) (注2) 千 百 十 一 1 5 5 kWh
		太陽電池の総容量 (注) 十 百 十 一 5 5 kW	受領金額 万 千 百 十 一 5 1 1 5 円

問 17 へお進みください

発電はモニターで確認

太陽電池の総容量は購入時のカタログで確認

(注1) 表示モニターなどをもとにお答えください。
売却（売電）と期間が整合しなくても構いません。
(注2) 「4月分」の検針票をもとにお答えください。

問 17 4月時点のガスの契約の有無をお答えください。契約している場合は4月分の使用量、ガス料金、使用期間とガスの種類、ガス会社の名称をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	契約 【一つに○】	ガス使用量 (注1) 【数値を記入】	ガス料金 (注2) 【数値を記入】
ガス	☐ 1 有 ☐ 2 無	百 十 一 . m³	万 千 百 十 一 円

問 18

請求額は税込のままご回答ください。
※契約が有る場合は、使用が無い月でも基本料金をご回答ください。

● LPガスの使用量が小数点まで記載されている場合は、小数点1位までご回答ください。
● ガス料金以外の「灯油」や「警報器リース」等は料金に含めないようにご注意ください。

ガス：例 1（従来のガス会社検針票）

ご使用量のお知らせ 1年 9月分 調査票記入月 ご使用期間 8月15日～ 9月10日 使用期間 ガスご使用量 14m³ 使用量 前回指示数 1722 今回指示数 1708 メータ番号 36-283-528 次回検針予定日 10月10日 前年同月使用量 16m³ (32日) 前月使用量 20m³ (34日)		ガス料金等口座振替領収証 お客さま番号 [] 1年 8月分 3,439円 ご使用期間 7月12日～ 8月14日 34日 ガス 54m³ ガス料金 3,439円 (内ガス料金消費税等) 254円 ガス料金 ・上記金額を 8月22日に領収いたしました。 ・この領収証によりガス料金をいただくことはありません。 東京ガス株式会社 東京ガスお客さまセンター 0570-002211 (ご利用になれない場合) 03-3344-9100	
TOKYO GAS 担当 東京ガスライフサポート 検針員 []		料金お渡し場所のご連絡先(月～土:9時～19時 日曜・祝日:9時～17時 受付) 東京ガスお客さまセンター 0570-002211 (ご利用になれない場合) 03-3344-9100 ガスもれ時連絡先(24時間受付) 0570-002299 ガス機器修理等のご連絡先(月～土:9時～19時 日曜・祝日:9時～17時 受付) 東京ガスライフサポート 0466-47-7130	

● 調査票への回答内容 (例 1 の場合、ご回答いただく調査票は「9月分」です)

ガス	契約【一つに○】	ガス使用量 (注1) 【数値を記入】	ガス料金 (注2) 【数値を記入】
	☒ 1 有 ☐ 2 無	百 十 一 [] [] [] 1 4 . 0 m³	万 千 百 十 一 [] [] [] [] [] 2 5 7 4 円
	問 18 へお進みください	使用期間【数値を記入】 8 月 15 日 ~ 9 月 10 日	

ガス：例 2（契約事業社のインターネット画面から確認できる月別ガス使用量と料金明細）

調査票記入月	マイ大阪ガス 6月のマンスリープレゼント ジョセフ・セザンヌ「プレップとサーブ」(2000年、多色刷、A3) ラージ プレゼントに応募する(ポイント不要)	
	2021年6月のご請求金額 大阪太郎 さま ご請求金額 7,404 円 振込先方法: 口座振替 振替予定日: 振替期日: 2021年6月21日に振替いたします ※ 振替先が変更された場合は、2021年6月21日に再振替いたします	
	使用期間 5月7日 ~ 6月3日	
	使用量 77 m³ ガス料金 7,404 円 (税込) (内消費税) 53 円	

● 調査票への回答内容 (例2の場合、ご回答いただく調査票は「6月分」です)

ガス	契約 【一つに○】	ガス使用量 (注1) 【数値を記入】	ガス料金 (注2) 【数値を記入】
	① 有	百 十 一 7 7 0 m ³	万 千 百 十 一 7 4 0 4 円
	2 無	使用期間 【数値を記入】	
問 18 へお進みください		5 月 7 日 ~	6 月 3 日

ガスの種類、ガス会社の名称

ガスの種類	1 都市ガス	② LP (プロパン) ガス
ガス会社名 (注)	JA上伊那中部LPガスセンター	

(注) 例) ○○ガス、△△市ガス局

プロパンガスをご使用の場合で、
購入先が「商店」や「燃料店」の場
合でも、その店名をご回答ください。

電気・ガスの契約を同一の事業社でまとめている場合のご回答月注意点

エネルギー種により使用月が異なる検針票や明細が多いため、
ご記入いただく際は、回答月にご注意ください。

例：ガス会社から発行されたガスと電気の明細が併記されている検針票

ガス		電気
3年11月分 ご使用量のお知らせ 調査票記入月 請求金額 11,658円 ガス料金合計 4,029円 電気料金合計 7,322円 その他料金合計 307円 ガスご使用量 23 m³ 電気ご使用量 269 kWh 警報器リース料金 507円		ガス契約明細 15A 45kg ジュール 供給地点特定番号 メーター番号 ガス料金合計 4,029円 基本料金 1,058.00円 従量料金 2,975.00円 ガス検針日(日数) 11月 5日(50日) ご使用期間 10月 7日~11月 5日 ご使用量 23 m³ 次回ガス検針予定日 12月 7日 前年同月使用量 20 m³(50日) 前月使用量 19 m³(50日) 当月適用単価料金 8表 129.00円/m³ 翌月適用単価料金 (単位:円/m³) A (0 m³~ 20 m³) 146.82 D (201 m³~ 500 m³) 126.41 B (21 m³~ 80 m³) 131.97 E (501 m³~ 800 m³) 117.41 C (81 m³~ 200 m³) 129.77 F (801 m³~) 109.97
電気契約明細 30A 供給地点特定番号 契約種別 基本プランA契約 電気料金合計 7,322円 基本料金 665円 電力量料金1 2,573.00円 電力量料金2 3,768.21円 燃料費調整額 ▲548.76円 セット割引額等 ▲32.00円 再エネ促進取組金 903円 電気検針日(日数) 10月16日(29日) ご使用期間 9月17日~10月15日 ご使用量 269 kWh		

上記の様な検針票の場合でも、使用期間に関わらずガス・電気いずれも11月分の調査票へご回答ください。

問 18 あなたの世帯の4月中の灯油、ガソリン、軽油の購入の有無をお答えください。購入が有る場合は、それぞれ購入量と支払金額をお答えください。

※主に事業用に使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。
 ※レンタカーなど、一時的に利用した車両のための購入を除きます。
 ※4月中に複数回購入した場合は、合計値を記入してください。
 ※世帯全体についてお答えください。

	購入 【一つに○】		有の場合	購入量 【数値を記入】		支払金額	
	有	無					
灯油	☒ 1	☐ 2	→	百 十 一 5 0 . 0 0 リットル	1 3 5 3 0 円		
ガソリン	☒ 1	☐ 2	→	百 十 一 9 7 . 2 8 リットル			
軽油	☐ 1	☒ 2	→	百 十 一 リットル	万 千 百 十 一 円		

※ 調査月内（毎月1日～末日）に購入されたエネルギー種別に、購入量と支払金額を合計の上、ご回答ください。
 ※ クレジットカード払いなどでご購入の際は、実際の支払月がずれますが、その場合でも、給油された月を購入月としてご回答ください。
 ※ 購入額は税込のままご回答ください。

「ガソリン・軽油」は、世帯内で保有するすべての車両の合計量と合計額が毎月のご回答の対象となります。

			世帯全体分の1ヶ月分の合計購入量と合計金額をご回答ください。 例：11月購入分 世帯全体で3回給油 給油量合計＝97.28 L 購入金額計＝13,530円（税込）
--	--	--	---

V. その他

問 19 4月中に、旅行等で5日間以上、居住者全員が不在になることがありましたか。

【一つに○】

☒ 1 あった	☐ 2 なかった
--	------------------------------

I (1頁) 4月末時点で居住しているとご回答いただいた全員が5日間以上家を留守にされていた場合は、1に○をつけてください。

問 20 お宅では以下の状況に該当する方（あなた自身を含める）はいいますか。

※該当する方が一人でもいる場合「いる」と回答してください。

	【それぞれ一つに○】	
	いる	いない
光熱費を節約するため、省エネを心がけている方	☒ 1	☐ 2
地球温暖化対策のため、省エネを心がけている方	☐ 1	☒ 2
他の世帯が省エネ行動をしているため、省エネを心がけている方	☐ 1	☒ 2
上記以外の理由で省エネを心がけている方	☐ 1	☒ 2
明確な理由はないが、省エネを心がけている方	☒ 1	☐ 2

あなたご自身
のことも含め、
ご回答ください。

※ ここでいう省エネとは、日常の生活の中で電気やガスなどのエネルギーを無駄にしないようにすることをいいます。

6. 5 月度分以降「問 1」ご回答についての注意点

問 1 ○月中の、エネルギー消費に影響する以下の項目についてお答えください。また、1 から 12 にあてはまらない場合は、「13 上記 1～12 にあてはまるものは無い」に○印をつけてください。

- 毎月の調査票ご回答時は、1～13のいずれかに○をつけてください。
- 1～12は、該当される月の調査票のみにご回答くだされば結構です。

【あてはまるものすべてに○】

1	世帯全体で転居した							
2	居住人数が変化した → (<u>2</u> 人 から <u>3</u> 人 へ)							
3	住宅を増築、または建て替えた							
4	電力会社を変更した → (変更後の会社名 :							
5	ガス会社を変更した → (変更後の会社名 : <u>京葉ガス</u>)	電力やガスの契約会社を変更された場合は、変更後の会社名をお知らせください。						
6	給湯器を買い替えた → (買い替え前のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス 3 灯油 4 太陽熱給湯器) → (買い替え後のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス 3 灯油 4 太陽熱給湯器)							
7	台所用コンロを買い替えた → (買い替え前のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス) → (買い替え後のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス)	給湯器や台所用コンロを買い替えた場合は、買い替え前後のエネルギー種についても、それぞれお答えください。						
8	太陽光発電を新規に導入または太陽電池の総容量に変化があった → 太陽電池の総容量 : <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>+</td><td>-</td></tr><tr><td>□</td><td>□</td></tr><tr><td>□</td><td>□</td></tr></table> kW	+	-	□	□	□	□	※集合住宅の共用部に電力を供給するものを除きます。 ※小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで記入してください。
+	-							
□	□							
□	□							
9	家庭用燃料電池（エネファーム）を導入した → (売電契約の有無 : 1 有 2 無)							
10	ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）を導入した → (売電契約の有無 : 1 有 2 無)							
11	旅行等で5日間以上、居住者全員が不在の日があった							
12	その他（具体的に :							
13	上記 1～12 にあてはまるものは無い							

1～12にあてはまらない場合は、13に○をつけてください。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

★ 調査に関するお問合せメールのご利用方法

調査にご協力いただいています皆様からのお問合せは、メールでも受け付けております。どうぞお気軽にご利用ください。

ご利用手順

お手持ちの携帯やスマートフォンで QR コードを読み取ってください。

※ QR コードが読み取れない場合は、お手数をお掛けしますが、
Yahoo!や Google トップ画面最上段にアドレスを入力いただき
Enter キーまたは検索ボタンをクリックしてください。
<https://survey.intage-research.co.jp/m/co2m-entry>



intage 株式会社インテージリサーチ

家庭部門のCO2排出実態統計調査 お問い合わせフォーム

下記フォームに必要事項を入力の上、「確認画面」ボタンを押してください。
なお、お問い合わせいただいた内容は、事務局営業時間内にご回答させていただきます。
あらかじめご了承ください。
事務局営業時間：9：30～17：30（土・日・祝日・年末年始を除く）

※ご注意点※
ご入力いただいたメールアドレスに誤りがございましたら、お問い合わせについての回答メールがお送り
出来ない場合があります。
また、携帯電話やスマートフォンのメールアドレスをご指定される場合は、「intage.co.jp」・
「intage.com」ドメインからのメールが受信可能であることの設定についても、今一度確認をお願い
いたします。本設定がされていない場合にも回答メールが届かない場合がございますので、ご注意ください。
下記の必要事項をご入力ください。
(必須) 必須項目は必ずご入力ください

メールアドレス (必須)	(半角)
メールアドレス (確認： 上記と同じアドレスを入 力) (必須)	(半角)
氏名 (必須)	
世帯コード(ID) (必須)	(半角数字のみ)
お問合せ内容 (必須)	
電話番号	- - (半角数字)

※世帯コード (ID) はお渡ししている茶封筒もしくは調査票の左上にある「4桁」・「2桁」の計6桁の数字もしくはインターネットコード表の「ID」を入力してください。ハイフン[-]は不要です。

当社は、ご記入いただいた各種の個人情報を下記のように取り扱います。
■利用目的：お問い合わせの管理および返信のために利用致します。
■個人情報提供の任意性：個人情報の提供は任意になりますが、お問い合わせ等に応じるために必要不可欠な項目について提供いただけない場合はお問い合わせ等に関するお答えができませんのでご了承ください。
■問い合わせ先：個人情報に関する問い合わせは下記までお願い致します。
株式会社インテージリサーチ 家庭部門のCO2排出実態統計調査事務局
TEL: 042-476-5078 / FAX: 042476-5048
Email: ira-co2@intage.co.jp

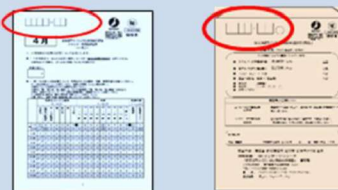
☐ 同意いたします。

確認画面

● はじめにご注意点をお読みください。

● 入力画面に必要事項を入力ください。

[注意]
世帯コード (ID) とは、調査票や茶封筒の
左上に印字されている6ケタの数字です。



● 個人情報の取り扱いについての文面を
確認の上、「同意いたします」の左側□
をクリックし、チェックをつけてください。

● 「確認画面」ボタンをクリックください。

 株式会社 インテージリサーチ

家庭部門のCO2排出実態統計調査 お問い合わせフォーム

下記の内容で登録してよろしければ「送信」ボタンを押してください。

メールアドレス	
メールアドレス（確認：上記と同じアドレスを入力）	
氏名	
世帯コード(ID)	999999
お問合せ内容	
電話番号	999-9999-9999

● 入力いただいた返信用のメールアドレスを再度ご確認ください。

※ 内容に間違いがなければ、「送信」ボタンをクリックください。
※ 修正が必要な場合は、「戻る」ボタンをクリックし再度入力してください。

 株式会社 インテージリサーチ

家庭部門のCO2排出実態統計調査 お問い合わせフォーム

送信が完了いたしました。お問い合わせありがとうございました。
ご入力いただいたメールアドレスに受付確認メールを送信いたしますのでご確認ください。

お急ぎの場合は、お手数ですが下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
長期にわたる調査ではございますが、引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「家庭部門のCO2排出実態統計調査」事務局
TEL: 0120-305-105
MAIL: irs-co2@intage.co.jp

ご登録が完了いたしました。
お問い合わせありがとうございました。

[戻る](#)

お問い合わせ受付のご連絡（自動送信）

家庭部門のCO2排出実態統計調査 <irs-co2@intage.co.jp>
宛先:

家庭部門のCO2排出実態統計調査 事務局へお問い合わせいただき、ありがとうございます。
このメールはシステムから自動で送信される、お問い合わせ受付のご連絡です。

お問い合わせいただいた順に事務局担当者よりご連絡いたします。
恐れ入りますが、ご連絡を差し上げるまでお待ちくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

長期にわたる調査ではございますが、引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「家庭部門のCO2排出実態統計調査」事務局
TEL: 0120-305-105
MAIL: irs-co2@intage.co.jp
受付時間 平日 9:30~17:30

● お問い合わせメール送信後に、折り返し「お問い合わせ受付のご連絡」メールを受信できているかご確認ください。

※ お問い合わせメールの返信は、
平日 9:30~17:30 の間にお送りいたします。
※ お問い合わせ内容によっては、お電話にてご案内する場合もございますので、あらかじめご了承ください。